kruel（残酷な）

* + 提案: 残
  + 理由: 「残酷」「残忍」などの語感から、日本語圏・中国語圏双方で「残＝cruel」のイメージが比較的つかみやすい。
  + 学習コスト: 画数(9～10画程度)はそこそこだが、意味連想は容易。汎用性の高い字（「残酷」「残忍」「残余」など）でもある。

1. amar（苦い）
   * 提案: 苦
   * 理由: 「苦味」「苦い」「苦痛」など、日本語・中国語ともに「苦＝bitter」の意味がわかりやすい。
   * 学習コスト: 8画。頻度も高く、よく使われる字で汎用性が高い。
2. diskret（口が固い／慎み深い）
   * 提案: 慎
   * 理由: 中国語では「谨慎(=慎重)」「小心谨慎」など、「慎」が「慎み深い」「注意深い」を表す字として広く認知される。日本語でも「慎重」「慎む」などで意味を把握しやすい。
   * 学習コスト: 13画とやや多めだが、日中で比較的通じやすい点を優先。
3. obtuz（鈍い）
   * 提案: 钝 （※日本の旧字「鈍」の簡体字）
   * 理由: 中国語簡体字で「钝」は「鈍い」「切れ味が悪い」の意。
   * 学習コスト: 日本語の「鈍」と形が異なるが、同系統の意味であることは比較的推測しやすい。
4. impertinent（厚かましい／失礼な）
   * 提案: 无礼
   * 理由: 「无礼」は「無礼」に相当し、「失礼」「礼儀を欠く」として日中ともに理解されやすい。
   * 学習コスト: 2文字だが、「无(無)」「礼」の両字とも頻度が高く、画数合計も少なめ（4画＋5画=9画）。
5. sakr（罵る／呪う：特に“curse, swear”のニュアンス）
   * 提案: 咒
   * 理由: 中国語簡体字で「咒」は「呪う、呪詛する」の意（伝統的には日本語の「呪」に相当）。「口＋（祝などに通じる形）」から成り立ち、いわゆる“curse”の含意がある。
   * 学習コスト: 8画。やや馴染みが薄い可能性はあるが、意味の対応は比較的ストレート。
6. fanfaron（大言壮語する／吹聴する）
   * 提案: 夸
   * 理由: 中国語の「夸」は「誇る」「ほめる」「大げさに言う」などの語感があり、「夸口(=大口を叩く)」にも使われる。日本語の「誇(誇張)」に近い。
   * 学習コスト: 6画で比較的少なめ。
7. klaĉ（悪口・ゴシップ・雑談）
   * 提案: 闲话
   * 理由: 「闲话」は「閒話（かんわ／ひまばなし）」の簡体字で、「雑談」「ゴシップ」「無駄話」のニュアンス。
   * 学習コスト: 2文字(7画+4画=計11画)だが、どちらも頻出の字かつゴシップ的な「無駄話」を表しやすい。
8. bru（騒音を出す）
   * 提案: 吵
   * 理由: 中国語の「吵」は「騒ぐ」「うるさい」「口論する」の意で、騒音・喧騒を連想しやすい。
   * 学習コスト: 6画。シンプルで使いやすい。
9. tumult（騒動／混乱）

* 提案: 乱
* 理由: 中国語でも日本語でも「乱」は「乱れる／混乱／騒ぎ」のニュアンスを持ち、「tumult」「暴動」「混乱」に近い意味合いを連想しやすい。
* 学習コスト: 7画と少なめ。

1. distr（気晴らしをする／気を散らす／娯楽を与える）

* 提案: 娱 （※日本語の「娯楽」の「娯」の簡体字）
* 理由: 中国語で「娱乐(娯楽)」「娱人(人を楽しませる)」など、「楽しませる」「気を紛らわす」を表す字として適切。
* 学習コスト: 10画。日本語の「娯」に近く、なんとか想像できる範囲。

1. sufok（窒息させる／息を止める）

* 提案: 窒息
* 理由: 中国語で「窒息」は「呼吸ができず苦しむ／窒息させる」の直接的な表現。単字「窒」だけではやや通じにくいことが多いため、2文字熟語で割当。
* 学習コスト: 合計17画(「窒」7画＋「息」10画)とやや多いが、意味が正確。

1. naŭz（吐き気を催させる／むかつかせる）

* 提案: 恶心
* 理由: 中国語の日常表現で「恶心」は「吐き気・ムカムカする」「気持ち悪い」の意。日本語でも「悪心(おしん)」と書くことがあり、連想はしやすい。
* 学習コスト: 2文字(「恶」10画＋「心」4画=14画)。ただし頻度は高く、理解しやすい。

1. ted（うんざりさせる／退屈な）

* 提案: 烦 （※日本語の「煩」の簡体字）
* 理由: 中国語で「烦」は「煩わしい」「うんざりする」「退屈だ」に近い意味をカバーしやすい。
* 学習コスト: 10画。後述の「ĉagren」にも使い回すことで学習コストを抑える。

1. ĉagren（いらだたせる／悩ませる）

* 提案: 烦 （14と同じ）
* 理由: 「烦」は「苛立ち」「悩み」「気が滅入る」などにも使われる。14番「ted」と類似の不快・厭な感情なので共用。
* 学習コスト: 同字に割当てることで新たな字を増やさずに済む。

1. haladz（悪臭／臭気）

* 提案: 臭
* 理由: 「臭」は「悪臭」「においがきつい」などを意味し、中国語でも日本語でも連想しやすい。
* 学習コスト: 9画。単字で「くさい・におう」と分かるためわかりやすい。

1. furioz（激怒した／猛烈に怒る）

* 提案: 怒
* 理由: 「furious」のニュアンスは「激しい怒り」。中国語・日本語とも「怒」は「怒る・怒り」を代表する漢字。強い怒りにも対応可能。
* 学習コスト: 9画。以下の怒り系語根とも共用して字数を節約。

1. koler（怒っている）

* 提案: 怒 （17と同じ）
* 理由: 「koler＝to be angry」は素直に「怒」で表せる。
* 学習コスト: すでに使用済みの字を流用。

1. indign（激怒する／憤慨する）

* 提案: 怒 （17,18と同じ）
* 理由: 「indignant」は「怒り＋憤り」の強さを含むが、「怒」で同系統としてまとめ、区別は上付きなどで対応予定。
* 学習コスト: 新規字を増やさずに済む。

1. ofend（侮辱する／感情を害する）

* 提案: 犯
* 理由: 中国語で「冒犯(=相手を犯す/感情を害する)」という表現があり、「ofend＝冒犯」に通じる。単字「犯」で「犯す／侵す／冒す」のニュアンス。
* 学習コスト: 5～6画程度で少なめ。比較的基本的な字。

1. blasfem（[宗]冒涜する）

* 提案: 亵渎
* 理由: 中国語では「亵渎(＝神仏や尊いものを汚す)」が“blaspheme”に最も近い表現。単字「亵」「渎」だけではやや不明瞭になりやすいので熟語で正確さを優先。
* 学習コスト: 2文字計20～21画と多め＆やや特殊だが、宗教的冒涜に相当する既成熟語としてはこれが定番。

1. kalumni（中傷する／誹謗する）

* 提案: 谤
* 理由: 中国語の「诽谤」で使う「谤（誹謗の“謗”の簡体字）」に相当。単字でも「中傷する」ニュアンスを担える。
* 学習コスト: 9画ほど。単独で使う頻度はそこまで高くないが、「诽谤」とセットでイメージしやすい。

1. riproĉ（とがめる／責める）

* 提案: 责
* 理由: 中国語の簡体字「责」は「責任を問う」「叱責」「責める」などの含意。日本語の「責」に対応。
* 学習コスト: 5～7画程度。比較的基本的な概念。

1. mok（あざける／嘲笑する）

* 提案: 讽
* 理由: 中国語で「讽刺(風刺)」「讥讽(あざける)」などに用いられ、「嘲る」「からかう」のニュアンス。
* 学習コスト: 6画と少なく、嘲笑・皮肉・風刺の類として汎用可。

1. insult（罵る／侮辱する）

* 提案: 辱
* 理由: 中国語・日本語いずれも「侮辱」「屈辱」などで用いられ、「insult(侮辱・名誉を傷つける)」に対応しやすい。
* 学習コスト: 10画。意味連想は容易。

abomen / 厌 / 「嫌悪」「憎悪」を表す単字 / ネガティブ感情全般に流用しやすく学習コストを軽減

1. ĵaluz / 妒 / 「嫉妬」「妒忌」を表す単字 / 「女」偏を含み、他の感情系漢字との区別もしやすい
2. envi / 羡 / 「羡慕」（羨ましい）を表す単字 / 日本語の「羨(うらや)む」に近く、意味を連想しやすい
3. fajl / 锉 / 「ヤスリをかける」「金属などを削る」を表す単字 / 金属系道具「钅」偏で他の工具関連とも関連づけ可能
4. torn / 车 / 「旋削する」「車床加工する」を表す単字 / 現代中国語では「車」は乗り物の意味が主だが、古くは旋削の意味もあり再利用度が高い
5. glad / 烫 / 「アイロンをかける」動作を表す単字 / 「熱を加える」意味で汎用度が高く、後述のscald系とも統一
6. drapir / 披 / 「布を掛ける」「覆う」を表す単字 / 「肩に掛ける」ニュアンスで日本語圏にも連想しやすい
7. kov / 孵 / 「卵を抱く」「孵化させる」を表す単字 / 専門的だが日本語の「孵化」と同源で直感的
8. jung / 套 / 「(馬具などを)つなぐ」「装着する」を表す単字 / 中国語「套马」のイメージがあり汎用性も比較的高い
9. strigl / 刷 / 「(馬を)ブラシでこする」「馬の手入れをする」を表す単字 / 「ブラシをかける」行為をまとめやすい
10. friz / 烫 / 「髪をカールする」「パーマをかける」を表す単字 / すでに“烫”を「熱を加える」動作の総称として使用し学習負担を軽減
11. komb / 梳 / 「櫛で髪をとく」を表す単字 / 日中ともに「梳かす」と関連づけやすく、木偏で直感的
12. raz / 剃 / 「(毛を)そる」を表す単字 / 刀偏で刃物を用いる動作と結びつけやすい
13. bala / 扫 / 「(床などを)掃く」を表す単字 / 中国語で「打扫」の掃と同一、扌偏で道具を使う動作
14. viŝ / 拭 / 「(汚れを)拭き取る」を表す単字 / 中国語ではやや文語的だが「拭く」の意が明確、日本語圏にも分かりやすい
15. lav / 洗 / 「洗う」を表す単字 / 最も一般的な洗浄を表す字で、氵偏の再利用価値も高い
16. gargar / 漱 / 「うがいをする」「口をすすぐ」を表す単字 / 中国語「漱口」の漱で、同じく氵偏の仲間
17. seg / 锯 / 「(のこぎりで)切る・挽く」を表す単字 / 金偏で「鋸(のこぎり)」を表し、工具シリーズと統一
18. ŝovel / 铲 / 「シャベルですくう」を表す単字 / 金偏で「铲(シャベル)」を表し、工具系の一貫性を保つ
19. rast / 耙 / 「(熊手で)かく」を表す単字 / 農具の「耙」はやや専門的だが、日中とも「耙」で通じやすい
20. muel / 磨 / 「(粉に)挽く」「粉砕する」を表す単字 / 日本語の「磨(みが)く」にも通じ、意味連想しやすい
21. pist / 磨 / 「(臼などで粉に)つく」を表す単字 / “muel”同様「粉砕系」動作なので敢えて同字で再利用し学習コスト削減
22. tan / 鞣 / 「(皮を)なめす」を表す単字 / 革偏でなめしの意、中国語でも比較的専門用語として通用
23. brog / 烫 / 「熱湯をかける」「やけどさせる」を表す単字 / 既出の“烫”を流用し、“scald”系動作を集約
24. tond / 剪 / 「(髪や羊毛などを)刈る」「はさみで切る」を表す単字 / 刀偏で“剃”との関連ありつつ、別動詞として区別

falĉ / 切 / 「草を刈る・収穫する」の本来の意味としては「割」や「刈」が近いが、画数や頻度を踏まえ「切」に集約 / 「切」は日中双方で「切断」の概念を想起しやすく、他の“切る”系語根とも共通利用可能

1. tajl / 切 / 「裁断する」のニュアンスは「裁」「割」などが適当だが、学習コスト削減のため「切」を再利用 / 同上
2. sekc / 切 / 「医療解剖」などのニュアンスを含むが、「切」で共通化 / 同上
3. tranĉ / 切 / 「刃物で切る」行為は最も「切」が直感的なので共通利用 / 同上
4. hak / 切 / 「たたき切る」「叩き斬る」は本来「砍」などが近いが、同様に「切」で集約 / 同上
5. kuir / 煮 / 「料理する」全般を単一漢字で表すにはやや無理があるが、日中双方で比較的“調理”を連想しやすい「煮」を採用 / 「火＋者」の形で画数8、認知度も高い
6. frit / 煎 / 油を使った「フライにする」イメージに最も近い単字は「煎」「炸」等だが、「炸」は「爆発」とも結びつきやすいので「煎」を選択 / 画数も7画で比較的少なめ
7. bak / 烧 / 「焼く」「オーブンで焼く」は中国語で「烤」に相当するが、画数が10画とやや多い。「烧」(9画)は日本語の「焼」と同根で連想しやすく、のちの「rost」とも統合しやすい / 学習コスト低減
8. rost / 烧 / 「(直火で)あぶる・ローストする」を「烧」で「bak」と共通化 / 同上
9. tajp / 打 / 「(キーボードを)打つ・入力する」の意味合いを、単字でなるべく直感的に示すなら「打」が最適 / 「打字」からの連想がしやすく、画数5
10. kompost / 排版 / 「植字・組版」を1文字で表すのは困難。実務上よく使われる「排版」を選択 / 「排」(11画)＋「版」(8画)
11. skrib / 写 / 「書く」を端的に表す簡体字。「写」は日中いずれも「書く・写す」のイメージが直感的 / 画数5
12. stenograf / 速记 / 「速記」を表す代表的な2字熟語。1文字では適当なものがない / 「速」(10画)＋「记」(5画)
13. projekci / 投影 / 「映写」「投影」を表す代表的な熟語。「映」単独だと“反映・映る”のニュアンスが強く不十分 / 「投」(7画)＋「影」(15画)
14. desegn / 画 / 「描く・デザインする」。日本語「画(えが)く」に通じ、中国語でも「画(绘画)」の概念が伝わりやすい / 8画と比較的少なめ
15. skiz / 草图 / 「スケッチ」「下絵」「草案」という意味で、中国語で「草图」がよく使われる / 「草」(9画)＋「图」(8画)
16. ilustr / 插图 / 「挿絵・イラスト」を表す際に一般的な熟語。日本語でも「挿絵」を連想しやすい / 「插」(10画)＋「图」(8画)
17. brod / 绣 / 「刺繍」を示す簡体字は「绣」。2文字「刺绣」もあるが、1文字ですむ方を優先 / 10画
18. gravur / 刻 / 「刻む・彫り込む」は「刻」が最適。後述の彫刻系とも統合 / 8画。頻出のため他の“彫る”系に共用可能
19. tatu / 纹身 / 「入れ墨」の中国語として一般的な熟語。単字で「纹」「刺」等では伝わりにくい / 「纹」(7画)＋「身」(7画)
20. skulpt / 刻 / 「彫刻する」ニュアンスは本来「雕」が近いが画数(11画)が多いので「刻」に統合 / 同上(gravurと同じく8画)
21. ĉiz / 刻 / 「彫り刻む(chisel)」も「刻」にまとめる / 同上
22. ŝmir / 涂 / 「塗る・塗布する」の意味合いで「涂」を採用。「抹」もあり得るが「塗る」ニュアンスには「涂」が自然 / 10画
23. lubrik / 润滑 / 「潤滑する」には標準的な1文字が無いため「润滑」を選択 / 「润」(10画)＋「滑」(12画)
24. dron / 溺 / 「溺れる」「溺死する」を示す代表的漢字。簡体字でも「溺」の形はほぼ同じ / 13画

inund / 泛 / 「氾濫」「泛濫」の“泛”で「水があふれ出す」イメージ / 画数少なめ(7画)で、日中ともに“氾濫”連想しやすい

1. diboĉ / 放荡 / 「放縦でだらしない」意味合いが強い熟語 / 「放」(8画)を他語根でも再利用予定、「荡」(10画)も比較的よく使われる漢字
2. ferment / 发酵 / 一般的に「発酵」は“发酵”と書くのが自然 / 「发」(5画)「酵」(14画)で熟語だが、発酵の意味が明確
3. bol / 沸 / 「沸く」を直接表す字 / 「沸騰」の沸(8画)で分かりやすい。単字としても意味を連想しやすい
4. fand / 熔 / 熔化・溶融の「熔」 / 金属やガラスを溶かすニュアンスに近く、炉など火偏の関連で視覚的連想もしやすい(12画)
5. degel / 融 / 氷雪が溶ける「融解」イメージに近い / 「融合」「金融」等でも使い頻度高め(16画だが単字としては定番)
6. civiliz / 教化 / 「文明開化」のイメージで「教化」 / 「教」(11画)「化」(4画)で、教導・導くニュアンスが伝わりやすい
7. edif / 教 / 宗教的・精神的に教え導くニュアンス / 既出「教」を再利用して学習負荷を抑える
8. ilumin / 照 / 「照らす」の代表的な字 / 「写真(写真を撮る)」「照明」など日中双方で連想可能(13画)
9. rivel / 显 / 「顕す・顕れる」の顕の簡体字 / 「显露(現れる)」「显示(表示する)」など「明らかに見せる」意に合う(9画)
10. infuz / 泡 / 「お茶を淹れる」「浸す」の感覚 / 「泡茶(お茶を淹れる)」「泡水」などで“液体に浸す・抽出する”のイメージ(8画)
11. ventol / 通风 / 換気は一般に「通風」 / 「通」(10画)「风」(4画)で合計14画だが意味がはっきり伝わる
12. filtr / 滤 / 「过滤(ろ過)」の“滤”を単字化 / 「滤」(11画)でフィルタリングの基本イメージ。単独でも「过滤」の略として通じる
13. rafin / 炼 / 「精炼(精製する)」「炼油(石油を精製する)」などの“炼” / 画数(9画)はそこそこだが動詞用法でも認識されやすい
14. kaŭteriz / 灼 / 「灼熱」「灼く」の灼 / 「烧」より画数少なめ(7画)。化学的・外科的に「焼灼する」ニュアンスにも合致
15. satur / 饱和 / 化学用語「飽和」の代表形 / 「饱」(8画)「和」(8画)計16画だが、日中ともに“飽和”を直接連想しやすい
16. distil / 蒸馏 / 蒸留の基本表現 / 「蒸」(11画)「馏」(10画)の2字熟語。単字「馏」は動詞としてはやや通じにくい
17. el/turn/iĝ## / 闪 / 「ひらりと避ける」「瞬間的に動く」イメージ / 「闪避(よける)」「闪开(どく)」で“身をかわす”連想が容易(5画)
18. ĵongl / 耍 / 「もてあそぶ」「軽業をする」の感覚 / 「玩耍」「杂耍(軽業)”」に含まれる字(10画)。ジャグリング的ニュアンス
19. forĝ / 锻 / 「鍛造」の簡体字(鍛→锻) / 「锻造」「锻打」などで金属を打つイメージ(8画)
20. skerm / 击剑 / フェンシングは中国語で「击剑」 / 「击」(5画)「剑」(9画)で計14画。スポーツ種目として定着した用語
21. met / 放 / 「置く・放す」の基本動詞 / 「放下」「放置」など。「放荡(diboĉ)」で既出の字を再利用(8画)
22. munt / 装 / 「装配(組み立て)」の核心字 / 「安装」「组装」など、“組み立てる・はめ込む”イメージ(12画)。後述のinstallとも関連
23. instal / 安装 / 一般に「インストール」は「安装」 / 「安」(6画)「装」(12画)で合計18画。PCソフト設置などにも使う表現
24. insid / 陷 / 「陥れる」の核心字 / 「陷害(はめる)」「陷阱(落とし穴)」などに通じ、陰謀・トラップの連想が容易(7画)
25. rembur / 填 / 「埋める・詰める」として日中双方で比較的連想しやすい / 日本語の「填める」や中国語の「填充」にも通じ、画数は10画だが頻度は高め
26. flik / 补 / 「補う・繕う」「修補」の意味があり、継ぎ当てる動作に近い / 画数7画と比較的少なく、日本語「補」に相当するためイメージしやすい
27. lut / 焊 / 「はんだ付け・溶接」を表す簡体字として一般的 / 金属を繋ぐ行為を直接指す語であり、学習コストも専門用語として妥当
28. rabot / 刨 / 「かんなをかける」に近い意味。木を削る道具「刨子」などで日中いずれも使用 / 画数は8画だが常用の範囲
29. tremp / 浸 / 「浸す・漬ける」の意があり、中国語・日本語ともに認識しやすい / 10画ながら汎用性が高い
30. implik / 缠 / 「絡ませる・もつれさせる」の意味。中国語「纠缠」などで頻出 / 多少画数(14画)は多いが「巻き付く・からむ」イメージで分かりやすい
31. rigl / 闩 / 「(かんぬきで)戸を閉める、ボルトを掛ける」を示す簡体字 / 画数4～5画ほどで非常にシンプル。日本語話者にはやや馴染み薄だが、意味としては直感的
32. kribr / 筛 / 「ふるいにかける」を表す簡体字。「筛选」(ふるい分け)など / 9画程度で「米＋師」に似た形状は覚えやすい
33. kned / 揉 / 「こねる・揉む・練る」の意味に合致 / 10画ながら日本語圏でもある程度連想可能
34. draŝ / 打 / 「打つ、叩く、(穀を)打って脱穀する」イメージが取りやすい / 画数わずか5画で極めて汎用度が高い
35. absorb / 吸 / 「吸収する」「夢中にさせる」(吸い込むイメージ) / 「吸引」など日中で共通理解されやすく、画数6画と少なめ
36. vek / 醒 / 「覚ます、起こす」を表す主要な漢字 / 16画と多めだが「覚醒」「酔醒」などで中日ともによく使われる
37. konstern / 惊 / 「驚かせる・仰天させる」に対応する簡体字 / 9画だが「驚」の簡体形で、日本語話者にも推測可能
38. inspir / 启 / 「啓発する・インスピレーションを与える」のイメージ。中国語の「启发」に相当 / 7画と比較的少なく、汎用度も高い
39. log / 诱 / 「誘う・気を引く」の意味に適合 / 「誘惑」の簡体字形で8画。日中とも「誘う」連想がしやすい
40. tent / 诱 / 上記(log)と同根的に「誘惑する」なので同一漢字を流用 / 一貫性のため再利用(上付き文字などで区別想定)
41. incit / 激 / 「刺激する・煽る・怒らせる」などのニュアンスに広く対応 / 後述(18以降)の類義語とも共通化し学習コスト削減
42. provok / 激 / 「挑発する、引き起こす」の要素が「激」のニュアンスに収まる / 同じ字(17参照)の再利用
43. instig / 激 / 「励ます・煽る・唆す」も「激励」と表現できるため / 同字再利用で一貫性をもたせる
44. stimul / 激 / 「激励する・刺激する」は漢語でも「刺激」や「激励」などに直結 / 同字再利用
45. ekscit / 激 / 「興奮させる・かき立てる」も「激起・激発」などに類する / 同字再利用
46. agit / 激 / 「アジテート・扇動する」は「鼓动」「煽动」等もあるが、汎用性優先で「激」に統一 / 同字再利用
47. est/ig## / 使 / 「(～を)引き起こす、～させる」に最も近い簡体字 / 8画で比較的ベーシック、日本語「使役」と対応し意味推測しやすい
48. indukt / 归纳 / 単字での「帰納」表現が難しいため2文字熟語 / 日本語「帰納」に近く、両言語でわかりやすい
49. abort / 流产 / 「流産・中断」の意味ではこの2文字熟語が一般的 / 「流」「产」はともに高頻度字で学習コストも比較的低め

nask / 生 / 「生」は「生む・生まれる」の意味を広く表せるため選定 / 画数が少なく頻出文字であり、日本語の「生む」「生まれる」とも結びつきやすく学習負担が軽い

* akuŝ / 产 / 「產(産)」の簡体字。「出産」を含む「生产」などの語にも使われ、出産・産出のニュアンスを表せる / 「生」と組み合わせて使われることも多く、学習コストも比較的低い
* kultur / 种 / 「種(たね)・種をまく」の簡体字。「耕种(耕し育てる)」などの表現で“栽培する”を連想可能 / 「禾」+「中」で画数も多くなく、日本語話者も「種」と似た形で類推しやすい
* bred / 养 / 「飼養(飼う・育てる)」「饲养」「培养」などに使われる“育てる・飼う”の意味 / 下の「nutr」と同じく「養う」の概念に近く、同一文字にすることで学習コストを抑制
* nutr / 养 / 「養う・栄養を与える」のイメージに合致 / 上記「bred(飼育)」と同じ文字を割り当て、習得すべき漢字数を減らす
* adopt / 收养 / 子どもを「養子にする」=「收养」が標準的な中国語表現 / 「养」を再利用しつつ、新出の「收」は画数が少なく認知しやすい
* ĉikan / 挑剔 / 「挑剔」は“あら捜しをする・難癖をつける”ニュアンスに近い / 日常的な言い回しで、やや画数はあるが短い熟語としてまとまっている
* fuŝ / 失误 / “失敗・しくじり・ミス”の意を表す常用熟語 / 「失」は5画、「误」は7画(※簡体字)で比較的シンプル
* rasp / 刨 / “削る・こそげとる・おろす”イメージの動詞として使用可能 / 4画と少なく、他の文脈(刨花/刨丝)でも「削り取る」「すりおろす」意味を連想できる
* kontuz / 伤 / “ケガをする・打撲傷・負傷”のイメージ。厳密には「瘀伤(あざ)」などもあるが簡便化 / 6画で頻出文字のため学習コストも低い
* turment / 虐 / “虐待する・いじめる・苦しめる”ニュアンス / 日本語圏でも「虐待(ぎゃくたい)」などで見かけるため連想可能
* atenc / 害 / “危害を与える・傷つける”全般を広くカバー / 「危害(violence, assault)」を想起しやすく、10画ながら比較的メジャー
* strik / 罢工 / “ストライキ”の定訳 / 単独の「罢」だけではやや曖昧なため、「罢工」で一目瞭然
* bojkot / 抵制 / “ボイコットする”の標準的現代中国語 / どちらも8画で構成され、ある程度頻出度も高い
* buĉ / 屠 / “屠殺する・ほふる”に直接対応 / 「屠宰」などでも用いられる単字で、8画と比較的少なめ
* murd / 杀 / “殺す・殺害する”の簡体字 / 「杀人(殺人)」で“殺人・殺害”を連想可能、6画で覚えやすい
* paf / 射 / “撃つ・射る”を表す / 「发射(発射)」などにも使われ、関連語も連想しやすい
* bombard / 炮击 / “砲撃・爆撃”を意味する熟語 / 「炮」は“砲”、 「击」は“撃”を表し、合わせて“砲撃”のニュアンスが明確
* paŝt / 牧 / “放牧する・家畜を飼う”の意 / 「牧場」等で日中ともに連想しやすく、8画と少なめ
* dres / 驯 / “調教する・動物を馴らす”を示す簡体字 / 「驯服」「驯兽」などでも用いられ、7画で比較的シンプル
* klaft / 寻 / 「尋(ひろ)」の簡体字で、古来“尋”は長さの単位(約1.8m) / 日本語「尋」と近い形で、6画と画数も少ない
* manĝ / 吃 / “食べる・飲む”の最も一般的な動詞 / 6画で頻出度が高く、学習コストが低い
* fast / 斋 / “断食する・精進料理をとる”などの意味 / 「斋戒(斎戒)」などで“断食”含み、日本語の「斎(とき)」にも近い
* digest / 消化 / “消化する”の定番表現 / 「消」は10画、「化」は4画(簡体)で構成され、他動詞／名詞としても使われる
* dir / 说 / “言う・述べる”の意を持つ簡体字 / 日本語の「説(せつ)」「言(こと)」にも近い要素があり、9画と比較的学習しやすい

### 1) rakont / 讲 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: rakont (物語る、語る)
2. 提案する簡体字: 讲
3. 選定理由:
   * 中国語で「讲故事(物語を語る)」「讲述(述べる)」などに用いられる字で、「語る」「話す」「説く」のニュアンスを幅広くカバーできる。
   * 日本語の「講(コウ)」とも字形が近く、意味連想もしやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数は比較的少なく(部首「讠」+「井」に近い形で6～7画程度)、頻度も高い。
   * 今後「講演」「講道」など、他の“話す/説く”系語根にも転用しやすい。

### 2) esprim / 表 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: esprim (表現する)
2. 提案する簡体字: 表
3. 選定理由:
   * 本来は「表达」「表现」が自然だが、一文字で簡潔に「外へ表す」イメージを伝えるなら「表」が比較的分かりやすい。
   * 日本語でも「表現」「発表」「表す」に使われる字なので連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「表」は使用頻度が高く、学習価値がある。
   * 厳密な意味を補う場合は後から「表达」など2文字熟語に拡張してもよい。

### 3) prononc / 发音 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: prononc (発音する)
2. 提案する簡体字(熟語): 发音
3. 選定理由:
   * 中国語で「発音する」を意味する最も標準的な表現。
   * 一文字だけでは「音(＝音そのもの)」「发(＝出す/送る等)」とやや抽象的になるため、まとめて「发音」に。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「发」も「音」も頻用字であり、他の派生語(発生/声音など)にも転用可能。
   * 2文字熟語だが、高頻度ゆえ学習コストはそれほど高くない。

### 4) dikt / 口述 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: dikt (口述筆記させる、口述する)
2. 提案する簡体字(熟語): 口述
3. 選定理由:
   * 「口頭で述べる」行為を端的に示す表現。日本語でも「口述試験」という形で馴染みがある。
   * 「口」は非常に基本的な漢字で、「述」も「叙述」「陈述」などで常用される。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数や構成が比較的分かりやすく、今後「述」を別の“述べる”関連の語根に再利用できる。

### 5) predik / 讲道 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: predik (説教する)
2. 提案する簡体字(熟語): 讲道
3. 選定理由:
   * 中国語で「説教する」「布教する」ニュアンスを表す際によく使う言い方が「讲道」。
   * 既出の「讲」を再利用できるため、重複が抑えられる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「道」は非常に基本的かつ汎用性の高い字(道理、道路、道具など)。追加学習の価値が大きい。

### 6) deklam / 朗读 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: deklam (朗読・朗誦する)
2. 提案する簡体字(熟語): 朗读
3. 選定理由:
   * 「声に出して読む」という意味合いを素直に表す中国語表現。
   * 「背诵(暗唱)」などもあるが、こちらは「記憶して暗唱する」ニュアンスが強いので、より広く「朗読」に近い「朗读」を採用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「读」は「阅读」「读音」など頻出。また「朗」も「明朗」「开朗」などで使われるため、実用性は高い。

### 7) svat / 媒 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: svat (仲人する、縁組みをする)
2. 提案する簡体字: 媒
3. 選定理由:
   * 「媒人」「媒介」などの語で「仲立ち・取り持ち」のニュアンスを強く含む字。
   * 中国語でも「做媒(仲人をする)」という表現がある。
4. 学習コストに関する考察:
   * やや画数は多めだが、「媒介」「媒体」等で広く使用されるため、覚える価値は高い。

### 8) iĝ / 成 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: iĝ ([接尾辞] ～になる)
2. 提案する簡体字: 成
3. 選定理由:
   * 「～になる」「～が成る」に対応しやすい代表的な字。「变」も候補だが「变」は「変化」に焦点が当たりやすい。
   * 「成る」「成功」など、日本語話者も連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数が比較的少なく、「完成」「成果」「成就」など派生語も多彩。汎用度が高い。

### 9) ig / 使 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ig ([接尾辞] ～させる)
2. 提案する簡体字: 使
3. 選定理由:
   * 中国語の「使…～(…を～させる)」という構文に馴染む字。
   * 日本語でも「使役」の要素を感じやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 非常に頻繁に出現する基本字。「使用」「使者」「大使」など、多方面に転用できる。

### 10) kroz / 巡航 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kroz (巡航する)
2. 提案する簡体字(熟語): 巡航
3. 選定理由:
   * 「巡」は「めぐる」「パトロールする」という意味合い、「航」は「船で行く／飛行機で航行する」含みを持つ。
   * 中国語で「巡航导弹」(巡航ミサイル)などの用例もあり、「巡航」という組み合わせ自体が一般的。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「巡」と「航」はいずれも後続の “航行” や “导航” などに繋げやすい重要字。

### 11) navig / 航行 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: navig (航行する)
2. 提案する簡体字(熟語): 航行
3. 選定理由:
   * 中国語で「船や飛行機等が進む」動作を表す標準的な語。
   * 日本語でも「航行」と言えばすぐにイメージ可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「航」はすでに「巡航」で出現、「行」も「行进」「旅行」などに広く使えるため相乗効果がある。

### 12) navigaci / 导航 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: navigaci (ナビゲーション)
2. 提案する簡体字(熟語): 导航
3. 選定理由:
   * 現代中国語で「ナビゲーション」を意味する最も一般的な語。「GPS导航」などの用例。
   * 「导」は「導く」「指導する」「案内する」など、応用範囲が広い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「航」は既出を再利用。「导」も汎用性が高い(例: 指导, 领导, 引导, 导体 等)。

### 13) migr / 游 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: migr (移動する, 放浪する, 旅をする等)
2. 提案する簡体字: 游
3. 選定理由:
   * 「游」は「遊ぶ」「さまよう」「移動する」ニュアンスを幅広く含む(本来は「泳ぐ」という意味合いもある)。
   * 「漫游」「巡游」「游历」など、多くの熟語で「放浪・移動する」意味を表す。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数も少なめ(6画)で、今後「游玩(遊ぶ)」など別の語根で再利用できる可能性がある。

### 14) vojaĝ / 旅行 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: vojaĝ (旅行する)
2. 提案する簡体字(熟語): 旅行
3. 選定理由:
   * 中国語でもごく標準的な「旅に出る」表現。
   * 一文字「旅」だけでも通じるが、より動詞・名詞両面で使いやすい「旅行」を採用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「行」は既出のため追加負担は「旅」(10画)のみ。日本語でも「旅行」として馴染み深い。

### 15) ekskurs / 远足 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ekskurs (遠足する, 小旅行をする)
2. 提案する簡体字(熟語): 远足
3. 選定理由:
   * 中国語では「郊游」などもあるが、「远足」は比較的日本語「遠足」と一致し、意味を推測しやすい。
   * 小規模な旅行・遠足というニュアンスを端的に表す。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「远」は(傳統字: 遠)で認知度が高く、「足」も基本部首として学習価値がある。

### 16) paŝ / 步 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: paŝ (歩む, 一歩踏み出す)
2. 提案する簡体字: 步
3. 選定理由:
   * 中国語で「歩く」「歩数」「进步(進歩)」など、「足を一歩進める」意味合いをシンプルに示す。
   * 日本語「歩」とほぼ同形(ただし旧字体では「步→歩」の差異はあるが、視覚的には近い)。
4. 学習コストに関する考察:
   * 今後「散步(散歩)」「跑步(走る)」などにも応用可能で、学習効率が高い。

### 17) marŝ / 行进 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: marŝ (行進する)
2. 提案する簡体字(熟語): 行进
3. 選定理由:
   * 中国語で「前へ進む」「行進する」意味を表す際の標準的な表現。
   * 軍隊の行進だけでなく、デモ行進などにも用いられる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「行」は既に再使用、「进」(進)も中国語では基本的な字(前進/进步など)で応用度が高い。

### 18) promen / 散步 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: promen (散歩する)
2. 提案する簡体字(熟語): 散步
3. 選定理由:
   * 「散」は「ほどく」「ばらばらにする」の意味を持ちつつ、中国語では「散步＝散歩」の形で「ぶらぶら歩く」ニュアンスを定着させている。
   * 「溜达」や「闲逛」などもあるが、「散歩」に相当する最も直接的な表現が「散步」。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「步」は既出を再利用。「散」は少々画数が多いが使用頻度は高め。

### 19) kur / 跑 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: kur (走る)
2. 提案する簡体字: 跑
3. 選定理由:
   * 中国語で「走る」を表す最も一般的な動詞。
   * なお日本語の「走る」は漢字で「走」だが、中国語では「走＝歩く/去る」の意味が強い。誤用を避けるため「跑」が適切。
4. 学習コストに関する考察:
   * 多少画数はあるものの、中国語学習の初期段階で必ず覚える動詞の一つ。

### 20) ir / 走 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ir (行く)
2. 提案する簡体字: 走
3. 選定理由:
   * 中国語の「走」は「歩く・去る・移動する」の基本動詞。エスペラントの「ir(行く)」のニュアンスに近い。
   * 「去」を使う手もあるが、やや「離れる・去る」方向が強いため、より汎用的な「走」を優先。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数が少なく頻出度が高い。日本語の「走」とズレがある点のみ注意が必要(学習時に注釈する)。

### 21) ŝak / 棋 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ŝak (チェス)
2. 提案する簡体字: 棋
3. 選定理由:
   * 中国語で「棋」は「囲碁・将棋・チェス」など幅広いボードゲームを指す常用字。
   * 国際チェスを厳密に指すなら「国际象棋」だが、一文字でまとめるなら「棋」が無難。
4. 学習コストに関する考察:
   * 日本語にも「棋士」「将棋」などの形で登場するため、イメージしやすい。

### 22) lud / 玩 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: lud (遊ぶ/演奏する/遊戯する など)
2. 提案する簡体字: 玩
3. 選定理由:
   * 中国語で「玩」は「遊ぶ」「いじる」「もてあそぶ」等の広い意味を持つ。
   * 「游戏(ゲームをする)」など2文字熟語を使う手もあるが、簡潔に示すなら「玩」が最も直接的。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数はそこそこだが「玩具(おもちゃ)」「好玩(面白い)」などで頻出。日本語でも「玩具」で馴染みがある。

### 23) petol / 闹 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: petol (悪戯をする/ふざける/やんちゃをする)
2. 提案する簡体字: 闹
3. 選定理由:
   * 中国語「闹(騒ぐ/ふざける/トラブルを起こす)」は「ふざけまわる」や「悪さをする」の含意がある。
   * 「淘气(やんちゃ)」「恶作剧」なども候補だが、1文字で近いニュアンスを示すなら「闹」が便利。
4. 学習コストに関する考察:
   * 簡体字「闹」は旧字体「鬧」と比べ大幅に画数が減っており、常用度も高い。

### 24) manovr / 演习 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: manovr (軍事演習・機動演習する)
2. 提案する簡体字(熟語): 演习
3. 選定理由:
   * 中国語で「軍事演習」を指す最も一般的な語。「操练」もあるが、こちらは訓練的な要素が強い。
   * 「演」は「演技」「表演」「演出」等、幅広い応用が可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「演」はやや画数多めだが汎用度は高い。「习」は3画で非常に基本的(学ぶ/慣れる)字。

### 25) ekzerc / 练习 / 選定理由 / 学習コストに関する考察

1. エスペラント語根: ekzerc (訓練する、練習する、鍛える)
2. 提案する簡体字(熟語): 练习
3. 選定理由:
   * 中国語で「練習/訓練」を表す際に最もシンプルな熟語の一つ。
   * 「训练」「锻炼」も候補だが、画数合計や汎用度を考慮すると「练习」がバランス良い。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「练」(7画)と「习」(3画)で合計10画ほどと比較的少なく、教育場面でも頻出。

trejn / 训 /  
選定理由: 「訓練」「训练」の「训」。中国語でも「训练」は「トレーニング」を意味し、日本語の「訓練」にも通じる要素があります。  
学習コスト: 「训」は部首「讠(言偏)」+「川」に近い形(実際の構造はやや異なりますが)で、比較的画数が少ない(5～7画程度に数えられる)ため負担は大きくありません。

1. proced / 行 /  
   選定理由: 「手順を進める」「行動する」「進行する」というニュアンスを、簡体字の「行」がカバーできます。本来「行」には「行う」「進む」など多義があり、「procedure(手順)」「to proceed(進む)」をまとめて表現しやすい字です。  
   学習コスト: 画数6画。既に別の語根(“ag”)にも「行」を割り当てる予定ですが、同じ漢字を使い回すことは学習コスト削減に有効と考えられます(上付き文字などで区別)。
2. ag / 行 /  
   選定理由: 「行動する」「アクションを起こす」の意味合い。中国語では「行动(xíngdòng)」「行事」など、「行」は「動作・行為」に関わる語彙で頻用されます。  
   学習コスト: #2 と同じく「行」を使い回すことで、学習すべき漢字の種類を増やさずに済みます。
3. entrepren / 企 /  
   選定理由: 「企業」「企てる」の「企」。日本語でも「企業」「企画」、中国語でも「企业」などに用いられ、「企てる・事業を起こす」という発想に近い漢字です。  
   学習コスト: 6画。比較的単純な構造で、「人(亻) + 止」ではなく「𠆢(にんべん) + 𡈼」のような構成ですが、見た目がシンプルで覚えやすい部類です。
4. trakt / 办 /  
   選定理由: 「扱う」「処理する」「交渉する」といったニュアンスを持つ「办」は、「办理(bànlǐ)＝処理する・取り扱う」のイメージが強いです。  
   学習コスト: 4画と少なく、簡体字で頻出(“办公”、 “办事”など)のため汎用性は高め。
5. manipul / 控 /  
   選定理由: 「操る」「操作する」「操縦する」に近い意味として、中国語では「操纵(cāozòng)」「控制(kòngzhì)」などが挙げられます。単字「控」は「制御・コントロール」の意味合いが強く、操作・操縦するイメージと重なります。  
   学習コスト: 11画(「扌」+「空」)。やや画数は多いものの、「操」(16画前後)よりは画数が少なく、意味も比較的わかりやすいです。
6. mov / 动 /  
   選定理由: 「移動する」「動かす」の意味には「动(dòng)」が最適。簡体字では「動」のしんにょう部分が省略され「动」になっています。  
   学習コスト: 6画。日本語の「動」と対応し、類推がしやすい。
7. port / 运 /  
   選定理由: 「持ち運ぶ」「運ぶ」に対応する語として、中国語の「运输(yùnshū)」「运送(yùnsòng)」などに共通する「运(yùn)」を単字で採用。  
   学習コスト: 7画程度。「辶(しんにょう) + 云(うん)」で構成。運搬や輸送を表す際に幅広く使われるため汎用性は高いです。
8. vetur / 乘 /  
   選定理由: 「(乗り物で)移動する」「搭乗する」「乗って行く」をイメージするのに、中国語の「乘(chéng)＝乗る」が使いやすい。「乘车(chéngchē)＝車に乗る」という形で使われます。  
   学習コスト: 10画。比較的まとまりのある構成で、「乗る・乗じる」という概念を表しやすいです。
9. rajd / 骑 /  
   選定理由: 「(馬や自転車など)またがって乗る」「騎乗する」の意味として、中国語の「骑(qí)」が最適。  
   学習コスト: 9画。日本語の「騎」の簡体字ですが、意味的にも「乗馬・乗車(二輪など)」を直接連想しやすい。
10. import / 进口 /  
    選定理由: 中国語で「輸入」を表す標準的な語が「进口(jìnkǒu)」。日本語圏でも「进口」が「輸入」を指すと容易に推測可能(「入り口」の別意味で混乱しないよう注意は必要ですが、文脈で区別可能)。  
    学習コスト: すでに出ている「口(3画)」と、新出の「进(7画)」。2文字熟語ですが、いずれも頻出字。
11. eksport / 出口 /  
    選定理由: 「輸出」に相当する中国語が「出口(chūkǒu)」。日本語の「出口」と同形ですが、文脈によって「export」の意味にもなります。  
    学習コスト: 「出(5画)」「口(3画)」どちらも非常に頻度が高い字。上記の「进口」と対になる形で覚えやすい。
12. korespond / 通信 /  
    選定理由: 「文通する」「やり取りする」「連絡を取り合う」を指す際、中国語の「通信(tōngxìn)」が最も直截的。「通」は「通じる」「往来する」、「信」は「手紙・情報・信頼」を表します。  
    学習コスト: 「通(10画)」と「信(9画)」。後述の「交通」(trafik) と同じ「通」を共有できます。
13. trafik / 交通 /  
    選定理由: 「交通」を表す標準的な中国語が「交通(jiāotōng)」。日本語とも全く同じ表記。  
    学習コスト: 「交(6画)」+「通(10画)」。すでに #13 と「通」を共通化でき、学習すべき新字は「交」のみ。
14. fluktu / 波动 /  
    選定理由: 「変動する」「上下する」に相当する一般的な語が「波动(bōdòng)＝(数値・状況などが)波打つように変動する」。  
    学習コスト: 「波(8画)」+「动(6画)」。後者は #7「mov」で既出の「动」を使い回すので、新出は「波」のみ。
15. ŝanĝ / 改 /  
    選定理由: 「(を)変える」「(を)改める」に最も直接的な漢字が「改」。中国語でも「改变(gǎibiàn)」「改正」「修改」など「改」を含む語が多く、「変更」の概念と結びつきが強い。  
    学習コスト: 7画。後述の「改宗」「改信」「改造」「修改」など多用予定なので、覚えておくと便利。
16. vari / 变 /  
    選定理由: 「変化する」「様々に変わる」を指すとき、中国語の「变(biàn)」はよく使われる(「变化」「多变」など)。#16 とは少しニュアンスを分け、こちらは「多様に変動する」イメージで割り当て。  
    学習コスト: 8画。やや似た意味を持つ「改」と並行して使い分けるが、いずれも常用字。
17. traduk / 译 /  
    選定理由: 「翻訳する」(特に文章の翻訳)としては「翻译(fānyì)」が標準。ここでは単字の「译」を採用し、簡潔さを重視。  
    学習コスト: 7画。単体で使われるケースは少ないが「口译」「笔译」「翻译」など多くの派生語に含まれる重要字。
18. interpret / 口译 /  
    選定理由: 「通訳する」の意味に最も直結するのが「口译(kǒuyì)」。文字通り「口でする翻訳」です。  
    学習コスト: 既出「口(3画)」+ #18 と同じ「译(7画)」を組み合わせ。2文字熟語ですが、新出字はありません。
19. prozelit / 改宗 /  
    選定理由: 「(宗教的)改宗者」を表すには「改宗(gǎizōng)」が自然。直訳すると「宗教を改める」のイメージになります。  
    学習コスト: すでに出ている「改(7画)」+ 新出の「宗(8画)」。宗教関連や「寺」「宗派」などと合わせて覚えやすい字。
20. konvert / 改信 /  
    選定理由: 「(人を)改宗させる」「(自分が)信仰を変える」に類する表現で「改信(gǎixìn)」が分かりやすい(厳密な常用語ではないが、字面で意味は十分通じる)。  
    学習コスト: 既出の「改」+ 既出の「信(#13)」。新しい字は増えず、覚えやすい。
21. metamorfoz / 变身 /  
    選定理由: 「変身」「姿を変える」の意味で、中国語では「变身(biànshēn)」という表現が分かりやすい。  
    学習コスト: 既出の「变(8画)」+ 新出の「身(7画)」。一度覚えれば「身体」「自身」など多数の語でも出てくるため汎用性は高い。
22. re/form## / 改造 /  
    選定理由: 「(を)改造する」「(を)改革する」「再び作り直す」に近い意味として、標準的な「改造(gǎizào)」を採用。  
    学習コスト: 既出の「改」+ 新出の「造(10画)」。やや画数が多いものの、非常に一般的な字。
23. ripar / 修 /  
    選定理由: 「(を)修理する」「(を)直す」を表す単字として「修(xiū)」が最も直接的。「修理(xiūlǐ)」の略イメージでも理解しやすい。  
    学習コスト: 9画。後述(#25)の「修改」でも使われるので、早めに「修」を覚えておくと応用が利く。
24. modif / 修改 /  
    選定理由: 「(を)修正する」「(を)修訂する」「(を)変更する」の標準表現が「修改(xiūgǎi)」。文字通り「修＋改」。  
    学習コスト: 「修(#24)」+「改(#16)」の組み合わせ。どちらも既出字なので、新規文字は増えません。

### **1) korekt**

swift

Copy

korekt/改/「改」は「改正・訂正・修正」など「間違いを正す」ニュアンスを広く含むため選定/中国語でも日常的で画数も少なく学習しやすい

1. エスペラント語根: korekt
2. 提案する簡体字: 改
3. 選定理由: 「改」は「(誤りを)正す」「改める」の意味をもち、作文や答案の「添削・訂正」行為にもよく使われるため。
4. 学習コスト: 画数が少なく(7画)頻度も高い。日本語の「改訂」「改正」などとも結び付きやすい。

### 2) bind

bash

Copy

bind/装订/書籍の「製本」に最も典型的に使われる表現/「装」も「订」も比較的基本的な簡体字

1. エスペラント語根: bind
2. 提案する簡体字(熟語): 装订
3. 選定理由: 書籍の「製本」は中国語で「装订」が一般的。単独の「订」だけでは「注文する・取り決める」など別の含意が強く、製本を明示できないため2文字熟語を採用。
4. 学習コスト: 「装」「订」いずれも使用頻度が高い字で、後々ほかの語根にも転用可能。

### 3) redakt

swift

Copy

redakt/编辑/「編集」の意味で最も広く使われる標準的表現/「编」を再利用しやすい

1. エスペラント語根: redakt
2. 提案する簡体字(熟語): 编辑
3. 選定理由: 中国語の「編集」「エディット」は「编辑」が最も一般的。
4. 学習コスト: 「编」は他の「編纂」「编译」などにも共通し、よく使われる。「辑」も新聞・雑誌などで目にしやすい字。

### 4) kompon

swift

Copy

kompon/组成/「構成する」「組成する」を示す際によく使われる表現/「组」「成」ともに使用頻度が高い

1. エスペラント語根: kompon
2. 提案する簡体字(熟語): 组成
3. 選定理由: 「構成する」の一般的な言い方として「组成」「构成」などがあるが、「组成」は「組(组)+成」でどちらも基本的かつ汎用性が高い。
4. 学習コスト: 「组」「成」は単独でも他の多くの語彙に登場。字形も比較的シンプル。

### 5) kompil

swift

Copy

kompil/编译/「コンパイル」(特にプログラミング)で非常に一般的な熟語/すでに出現の「编」を再利用

1. エスペラント語根: kompil
2. 提案する簡体字(熟語): 编译
3. 選定理由: ソフトウェア・プログラムなどの「コンパイル」に相当し、現代中国語では「编译」が定番用語。
4. 学習コスト: 「编」は既に redakt(编辑) で登場。「译」も「翻译」などでよく見る字であり、比較的学びやすい。

### 6) modul

swift

Copy

modul/调/「(音楽の)転調、音を整える、調整する」意味に近い単字/「调」は「調節」「調音」等と共通

1. エスペラント語根: modul
2. 提案する簡体字: 调
3. 選定理由: 原リストにあるように音楽や信号を「転調・変調」するイメージであれば「调」が使いやすい。
4. 学習コスト: 中国語でも「调(調)」は「调音」「调整」「音调」など頻出の字。日本語でも「調べる」「調律」などの概念とつながりやすい。

### 7) konfuz

swift

Copy

konfuz/乱/「混乱」や「乱す、乱れる」に通じる短い字/単字で表現しやすく学習しやすい

1. エスペラント語根: konfuz
2. 提案する簡体字: 乱
3. 選定理由: 「混乱」「紊乱」など複数あるが、単独で「乱」は「乱す・乱れる・混乱させる」など広く「秩序を崩す」ニュアンスを伝えられる。
4. 学習コスト: 画数が少なく(7画)、「乱」という字は日中ともに認知度が高い。

### 8) komplik

swift

Copy

komplik/复杂/「複雑」を表す標準的二字熟語/広く理解されやすい

1. エスペラント語根: komplik
2. 提案する簡体字(熟語): 复杂
3. 選定理由: 「複雑」は中国語でも「复杂」が代表的。
4. 学習コスト: 「复」「杂」ともに新聞や書籍で頻繁に登場。日本語の「複(復)」「雑」と同根でイメージがつかみやすい。

### 9) fund

swift

Copy

fund/底/「底」そのものを表す簡単な字/シンプルに「底部」を示す際によく使われる

1. エスペラント語根: fund
2. 提案する簡体字: 底
3. 選定理由: 「底」は「そこ」「最下部」の意味として漢字圏で共通認識が高い。
4. 学習コスト: 8画で比較的シンプル。「到底」「底层」など応用範囲も広い。

### 10) profund

swift

Copy

profund/深/「深い」「深淵」「深刻」など幅広い意味をもつ最適単字/日本語圏にも馴染み深い

1. エスペラント語根: profund
2. 提案する簡体字: 深
3. 選定理由: 「深い」「深みがある」「奥深い」といった意味を最も直接的に表す字。
4. 学習コスト: 日常で非常に頻繁に使われ、日本語の「深」(しん/ふかい)とも対応。

### 11) abism

swift

Copy

abism/深渊/「深淵」を意味する最も典型的な二字熟語/すでに「深」を活用

1. エスペラント語根: abism
2. 提案する簡体字(熟語): 深渊
3. 選定理由: 「渊」は深いふち・淵を意味し、「深渊」で「深い奈落・深淵」。
4. 学習コスト: 「深」は既出。「渊」はやや画数が多い(11画)が、深淵としてまとまった概念で覚えやすい。

### 12) sond

swift

Copy

sond/测/「探る」「計測する」のニュアンスをシンプルに一字で表現/「測量」「観測」などにも通じる

1. エスペラント語根: sond
2. 提案する簡体字: 测
3. 選定理由: 本来「探测」「测量」「试探」などがあり得るが、深さを測る＝「测る」という行為に最も直接に対応。
4. 学習コスト: 8画で比較的覚えやすい。

### 13) sulk

swift

Copy

sulk/垄/畑の「うね」「畝(畦)」に近い概念として中国語で「垄」(畑の土の盛り上がり)を提案

1. エスペラント語根: sulk
2. 提案する簡体字: 垄
3. 選定理由: 「垄」は田畑の土が盛り上がった「畝」「畦」に相当。C1にある「垄沟」から「垄」を抽出。
4. 学習コスト: やや馴染み薄い字ではあるが、単字で「畝・畦」の意味を表しやすい。

### 14) kavern

swift

Copy

kavern/洞/「洞窟」「洞穴」を表す最も基本的な単字/大きな穴・洞を示す

1. エスペラント語根: kavern
2. 提案する簡体字: 洞
3. 選定理由: 「洞」は「洞窟」「洞穴」など大きめの穴を指すときに一般的。
4. 学習コスト: 9画でそれほど複雑ではない。「洞察」「空洞」など派生的な熟語も多い。

### 15) tru

swift

Copy

tru/孔/小さな「穴」や「孔」を表す際に広く使われる字/日本語の「孔(こう)」とも一致

1. エスペラント語根: tru
2. 提案する簡体字: 孔
3. 選定理由: 「孔」は「穴」「孔」を最も直接的に表すシンプルな字。
4. 学習コスト: 4画と画数が少なく、中国語では「鼻孔」「针孔」など頻繁に出現。

### 16) kav

swift

Copy

kav/穴(または「穴」)/空洞、くぼみなど「洞」ほど大きくない穴をイメージ/日中ともに認知しやすい

1. エスペラント語根: kav
2. 提案する簡体字: 穴
3. 選定理由: 「穴」は「小さい穴」「空洞」などに広く使われる。
4. 学習コスト: 5画と比較的シンプル。日本語の「穴」と全く同じ形。

### 17) bor

swift

Copy

bor/钻/「(ドリルで)穴を開ける」動作を表す単字/「钻孔」「钻研」などでも使われる

1. エスペラント語根: bor
2. 提案する簡体字: 钻
3. 選定理由: 「钻」は「穴を開ける」「掘り進む」意味。「钻孔」で「孔をドリルで開ける」の表現にも応用。
4. 学習コスト: 10画だが、「钻石」(ダイヤ)などで目にする機会が多く比較的覚えやすい。

### 18) fos

swift

Copy

fos/挖/「(地面を)掘る」動作に最もよく使われる字/「掘」に比べやや簡潔

1. エスペラント語根: fos
2. 提案する簡体字: 挖
3. 選定理由: 中国語で「掘る」は「挖」「挖掘」が一般的。「掘」はやや画数多いので「挖」を優先。
4. 学習コスト: 9画。発音面(wa)でも初学者に比較的示しやすい。

### 19) fos##

shell

Copy

fos##/坑/「(地面の)穴」「くぼみ・落とし穴」を意味する字/シンプルに「地面の穴」を示す

1. エスペラント語根: fos##
2. 提案する簡体字: 坑
3. 選定理由: 「(掘ってできた)穴」や「落とし穴」の意味。「矿坑」(鉱山の穴)などでも使う。
4. 学習コスト: 7画。「坑道」「坑洞」など派生語もわかりやすい。

### 20) akn

swift

Copy

akn/粉刺/ニキビや吹出物の代表的表現/単字より「粉刺」が正確かつ一般的

1. エスペラント語根: akn
2. 提案する簡体字(熟語): 粉刺
3. 選定理由: ニキビを指す定番表現。「痘」だと「天然痘」など他の病気も連想し混乱が生じやすい。
4. 学習コスト: 「粉」「刺」は比較的基本的な字。日本語の「粉」「刺」とも通じる。

### 21) ŝaŭm

css

Copy

ŝaŭm/泡/「泡」「あわ」を指す最もシンプルな字/「泡沫」「気泡」などとも関連

1. エスペラント語根: ŝaŭm
2. 提案する簡体字: 泡
3. 選定理由: 泡沫(フォーム)の「泡」を単独で使えば「泡」「あわ」全般を示せる。
4. 学習コスト: 8画でそこまで複雑ではなく、日本語でも「泡(あわ)」。

### 22) rekrement

swift

Copy

rekrement/渣/搾りかす・くずなど「液体を除いた残りかす」に最適/一字で表現

1. エスペラント語根: rekrement
2. 提案する簡体字: 渣
3. 選定理由: 「かす」「残渣」「滓」などの意味で、中国語では「渣」(おかゆのかす等)が典型的。
4. 学習コスト: 14画と少し多いが「渣滓」「豆渣(おから)」など見かける頻度も高い。

### 23) ŝpruc

swift

Copy

ŝpruc/喷/「噴き出す」「吹き出す」に近い動詞/単字で使いやすい

1. エスペラント語根: ŝpruc
2. 提案する簡体字: 喷
3. 選定理由: 中国語で「噴出する」は「喷」「喷射」「喷出」など。単独でも「吹き出す」動詞として機能。
4. 学習コスト: 7画。「喷雾」「喷泉」など応用範囲も広い。

### 24) ŝut

swift

Copy

ŝut/倒/「(粉や粒を)こぼす、流し出す、注ぎ出す」などの意味に合致/「注ぐ」系統でも最頻出の一つ

1. エスペラント語根: ŝut
2. 提案する簡体字: 倒
3. 選定理由: 粉や液体などを「ザッと出す」イメージなら「倒」が適当。単に「(容器を)逆さにして流し出す」動作。
4. 学習コスト: 10画。「倒茶」「倒垃圾」など、日常でも頻繁に使う。

### 25) ĵet

swift

Copy

ĵet/投/「(手で)投げる」「投げ入れる」の意味をシンプルに表現/日本語「投げる」とも対応

1. エスペラント語根: ĵet
2. 提案する簡体字: 投
3. 選定理由: 「扔」「抛」「掷」など候補があるが、「投」は画数も少なく日中ともに「投げる」イメージが強い。
4. 学習コスト: 7画で覚えやすい。政治用語「投票」やスポーツ用語「投球」にも出現。

1) verŝ / 注 / 「注ぐ」「注入」のイメージが日中で共有しやすい / 画数8、比較的ポピュラー

2) pump / 抽 / 「抽出」「抽(水)」など“汲み上げる”ニュアンスに通じる / 「吸・汲」と並んで再利用しやすい

3) glut / 吞 / 「吞む」として日中ともに“飲み込む”イメージが明確 / 画数7で比較的シンプル

4) suĉ / 吸 / “吸う”の基本字。日中とも意味が直感的 / 画数6でシンプル

5) ĉerp / 汲 / “汲む”の意味を直接表す常用字 / 画数6で比較的シンプル

6) sorb / 吸收 / “吸収”の定番表現。1文字で対応しにくいため2文字熟語 / 「吸」は既出で学習負荷低

7) krev / 裂 / “裂ける・破裂”の意味に直結 / 画数12だが他の候補(破/爆)等と比較し妥当

8) eksplod / 爆 / “爆発”を一字で直感的に示す常用字 / 画数は多め(19)だが日中とも認知度高

9) erupci / 喷发 / “噴火・噴出”に対応する一般的な2字熟語 / 「发」は汎用性高

10) ŝvel / 胀 / “膨脹・膨れる”を表す簡体字 / 画数8で比較的わかりやすい

11) puf / 胀 / “膨らむ・ふくらみ”も「胀」で再利用 / 同一漢字の使い回しで学習負荷軽減

12) etend / 伸 / “伸ばす”を直接表す常用字 / 画数7で比較的シンプル

13) stern / 铺(※拼音: pū) / “敷き広げる・敷設する”を表す / 画数8、簡体字で比較的よく使われる

14) kler / 文 / “教養(文化)”のイメージを簡潔に表せる / 画数4で非常にシンプル

15) intelekt / 知 / “知性”“知る”を示す基本字 / 画数8で、日中とも馴染み深い

16) percept / 觉 / “知覚する・感じる”を示す簡体字(覚の簡体) / 画数9

17) prudent / 慎 / “慎重・思慮深い”に対応 / 画数13だが日中共に意味が通りやすい

18) saĝ / 贤 / “賢明”を示す「賢」の簡体字 / 画数8で覚えやすい

19) inteligent / 聪 / “聡明”を示す「聰」の簡体字 / 画数9でシンプル

20) lert / 巧 / “器用・巧み”を直接表す常用字 / 画数5と少なく便利

21) sagac / 敏 / “敏捷・機敏”など“明敏”を示す常用字 / 画数10

22) sprit / 灵 / “機知に富む、(頭の)回転が速い”を表す簡体字 / 画数7で汎用性も高い

23) memor / 记 / “記憶する”“覚えている”の基本字 / 画数5で日中とも頻用

24) parker / 背 / 中国語では“背诵(暗唱)”に使う / 日本語では「背(せ)」だが要注意(別途注釈)

25) sobr / 节 / “節制・節度”を象徴する簡体字 / 画数5で多義だが汎用性高

### **1) abstin**

1. エスペラント語根: abstin
2. 提案する簡体字/熟語: 戒
3. 選定理由:
   * 「戒」は「戒烟(喫煙をやめる)」「戒酒(禁酒する)」など、“(悪習を)断つ・やめる”という用法がある。
   * 日本語でも「戒める（いましめる）」の字として意味が推測しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数は7画程度で比較的少なく、「警戒」「戒心」など他の熟語にも転用可能。

### 2) sekur

1. エスペラント語根: sekur
2. 提案する簡体字/熟語: 安
3. 選定理由:
   * 「安」は「安全」「安心」など“安全・安定”のイメージを担う常用字。
   * 日本語でも「安い」に加え、「安心」などから“安定・安全”を連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数は6画(簡体字同形)と少なく、広く使われるため学習コストは低い。

### 3) atent

1. エスペラント語根: atent
2. 提案する簡体字/熟語: 注
3. 選定理由:
   * 本来「注意(zhùyì)」など2文字のほうが分かりやすいが、ここでは学習負担を下げるため単独の「注」を採用。
   * 中国語では「注视(注視する)」「关注(注目する)」など「注意・意識を向ける」ニュアンスで使われる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 単独の「注」はやや意訳だが、1文字にすることで新規漢字数を最小限に抑えられる。
   * 必要に応じて「注意」など2文字表現にも容易に派生できる。

### 4) sin/gard##

1. エスペラント語根: sin/gard##
2. 提案する簡体字/熟語: 戒心
3. 選定理由:
   * 「戒心」は“(何かに備える)用心・警戒心”の意味。
   * 既出の「戒(abstin)」と、新たに「心」を組み合わせることで「自分を戒めつつ用心する」というイメージを表しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「戒」は既出。「心」(4画)も非常に基本的な字なので導入コストは低い。

### 5) okult

1. エスペラント語根: okult
2. 提案する簡体字/熟語: 神秘
3. 選定理由:
   * 「神秘(shénmì)」は「神秘的」「奥妙」など、オカルト・超自然的な“神秘”を表すのに適する。
   * 日本語でも「神秘」はそのまま“しんぴ”と読み、“神秘”や“オカルト的”なニュアンスを想起しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 2文字の熟語だが「神」と「秘」は後述する他の語根(例: mister, mistik, sekretなど)とも関連付けやすく、汎用性が高い。

### 6) mistik

1. エスペラント語根: mistik
2. 提案する簡体字/熟語: 神秘
3. 選定理由:
   * 「神秘的」「神秘主义」などの語感が“Mystic, Mystical”に近い。
   * 上記(5) okult と同じ「神秘」を流用し、学習コストを抑える。
4. 学習コストに関する考察:
   * すでに「神秘」を導入済みなので、新しい字の追加は不要。区別は上付きや振り仮名で行う。

### 7) enigm

1. エスペラント語根: enigm
2. 提案する簡体字/熟語: 谜
3. 選定理由:
   * 「谜(mí)」は「谜语(なぞなぞ)」「谜题(謎)」など、いわゆる“謎・謎掛け・暗号”を直接的に表す。
   * 日本語では「謎(なぞ)」の旧字体(「謎」は繁体「謎」)だが、意味の推測は容易。
4. 学習コストに関する考察:
   * 1文字でストレートに「謎」のニュアンスを示せるため採用。今後も“謎”関連語に応用しやすい。

### 8) sekret

1. エスペラント語根: sekret
2. 提案する簡体字/熟語: 秘
3. 選定理由:
   * 「秘密」「秘传」「秘籍」など、単独の「秘」で“秘密・秘められたもの”を表せる。
   * 既に (5)(6) で出た「神秘」の後半を流用し、「秘」を単独利用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 新たな漢字を増やさず「秘」を再活用。画数は10画だが、すでに登場済みである点が利点。

### 9) mister

1. エスペラント語根: mister
2. 提案する簡体字/熟語: 神秘
3. 選定理由:
   * 英語 “mystery” に相当し、中国語で「神秘」「奥秘」などが一般的。ここでは既出の「神秘」を再利用。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「okult」「mistik」と同様、区別は上付き文字等で対応し、学習コストを抑える。

### 10) artifik

1. エスペラント語根: artifik
2. 提案する簡体字/熟語: 骗术
3. 選定理由:
   * 「artifice, trick」を含意する語根なので、「骗术(piànshù)＝騙す技術(詐術)」というニュアンスが近い。
   * 「诡计」「手段」なども候補だが、「术(技術・手法)」の字を今後多用するため「骗术」を選択。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「骗」は新出だが、「术」は後述の(alĥemi, sorĉ, magiなど)で再利用されるため、トータル学習量削減につながる。

### 11) alkemi

1. エスペラント語根: alkemi
2. 提案する簡体字/熟語: 炼金术
3. 選定理由:
   * 中国語で「Alchemy(錬金術)」は「炼金术(liànjīnshù)」が一般的。
   * 日本語でも「錬金術」の文字面と近く、連想しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「术」は既出。「炼」「金」は新たな漢字だが、後者は「金属」の「金」であり非常に汎用性が高い。

### 12) alĥemi

1. エスペラント語根: alĥemi
2. 提案する簡体字/熟語: 炼金术
3. 選定理由:
   * (11)と同様。同義語なので同じ表現を適用可能。
4. 学習コストに関する考察:
   * 既出の「炼金术」をそのまま使うため新たな追加は無し。

### 13) sorĉ

1. エスペラント語根: sorĉ
2. 提案する簡体字/熟語: 巫术
3. 選定理由:
   * 「巫术(wūshù)」は“呪術・魔術・まじない”のニュアンスが強く、英語で言う “sorcery, witchcraft” に近い。
   * 日本語でも「巫(かんなぎ/みこ)」「術(わざ)」として把握しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「术」は再利用。「巫」は7画だが比較的単純な構造で、他の“魔術系”単語との差別化にもなる。

### 14) magi

1. エスペラント語根: magi
2. 提案する簡体字/熟語: 魔术
3. 選定理由:
   * 中国語で“マジック(手品含む)”“魔法”を指すときは「魔术(móshù)」や「魔法(mófǎ)」。
   * 英語 “magic” にも近く、中国語圏・日本語圏どちらにも通じやすい表記。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「术」は再利用。「魔」は画数が多いものの、“魔”関係の単語全般に応用可能。

### 15) fikci##

1. エスペラント語根: fikci##
2. 提案する簡体字/熟語: 虚构
3. 選定理由:
   * 中国語で「フィクション」を表す代表的な語の一つが「虚构(xūgòu)」。
   * 「幻想」「假想」なども近いが、“創作された虚構”という意味では「虚构」が正確。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「虚」「构」は新規だが、同じ「fikci」系(16番)にも使えるため、重複を避けられる。

### 16) fikci

1. エスペラント語根: fikci
2. 提案する簡体字/熟語: 虚构
3. 選定理由:
   * (15)と同意のため同じ字を使い回し、「フィクション(虚構)」を端的に示す。
4. 学習コストに関する考察:
   * 既出「虚构」を再利用。追加負担なし。

### 17) fenomen

1. エスペラント語根: fenomen
2. 提案する簡体字/熟語: 现象
3. 選定理由:
   * 中国語の「现象(xiànxiàng)」は“現象”を意味し、日本語と字面・意味がほぼ同じ。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「现」「象」は初出だが、いずれも使用頻度の高い常用字で、派生語も多い。

### 18) vizi

1. エスペラント語根: vizi
2. 提案する簡体字/熟語: 幻
3. 選定理由:
   * 「幻(huàn)」は“幻想・幻影・幻の...”という意味をもつシンプルな1字。
   * 英語の “vision (特に幻視)” に対応させ、視覚的な“幻”をイメージしやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 画数は4画と少なめで、日本語でも「幻(まぼろし)」の字形として馴染みがある。

### 19) sonĝ

1. エスペラント語根: sonĝ
2. 提案する簡体字/熟語: 梦
3. 選定理由:
   * 「梦(mèng)」は“夢を見る”の意。簡体字でも、旧字体「夢」と似ており日本人にも推測しやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 4画と非常に少なく、後述の「梦想」など他語彙への展開もしやすい。

### 20) imag

1. エスペラント語根: imag
2. 提案する簡体字/熟語: 想
3. 選定理由:
   * 「想(xiǎng)」は“思う・想像する”を表す基礎的な漢字。
   * 中国語・日本語いずれでも“想像”や“思考”関連で直感的に意味を推測できる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 13画とやや多いが、今後「幻想」「梦想」「理想」など様々に派生しやすい万能字。

### 21) rev

1. エスペラント語根: rev
2. 提案する簡体字/熟語: 梦想
3. 選定理由:
   * 「梦想(mèngxiǎng)」は“夢(寝ている時の夢)＋想(思う・願う)”→ “空想・夢見る・願望”を兼ねる常用表現。
   * Esperantoの「revi」は“夢(睡眠中)というより空想・理想・願望寄りの夢”なので適合。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「梦」「想」は既出文字の組み合わせ。新規漢字を増やさず表現できる。

### 22) fantazi

1. エスペラント語根: fantazi
2. 提案する簡体字/熟語: 幻想
3. 選定理由:
   * 「幻想(huànxiǎng)」は“空想・ファンタジー”的な意味合いをストレートに表す。
   * 日本語の「幻想(げんそう)」とも一致し、分かりやすい。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「幻」は既出(18)、「想」は既出(20)。追加負担なし。

### 23) iluzi

1. エスペラント語根: iluzi
2. 提案する簡体字/熟語: 幻象
3. 選定理由:
   * 「幻象(huànxiàng)」は“視覚上の幻想・錯覚”を指し、“illusion”に近い。
   * 「幻觉(幻覚)」も候補だが、ここでは既出「象」を利用できる「幻象」を選んだ。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「幻」は(18)で既出、「象」は(17)で既出。追加なしで対応可能。

### 24) ideal

1. エスペラント語根: ideal
2. 提案する簡体字/熟語: 理想
3. 選定理由:
   * 中国語でも日本語でも「理想(lǐxiǎng)」は“理想・理念・理想像”を指す最も代表的表現。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「理」は初出だが、“道理”や“理解”など極めて汎用度が高い字。「想」は既出で再利用。

### 25) optativ

1. エスペラント語根: optativ
2. 提案する簡体字/熟語: 愿望
3. 選定理由:
   * 「愿望(yuànwàng)」は “願い・望み”を表し、“願望法(optative mood)”の語感に合う。
   * 中国語の文法用語でも「愿望式」「愿望句」などが見られる。
4. 学習コストに関する考察:
   * 「愿」「望」は新規導入だが、ともに“希望・願う”関連でよく使われるため汎用度は高い。

last / 末 / 「最後・終末」を連想しやすい /

* + 選定理由: 「末」は「終わり・最後・末端」を表し、日本語・中国語双方で「ラスト」を連想しやすい。
  + 学習コスト: 画数5と比較的少なく、多用される漢字である。

1. ultimat / 末告 / 「最後通告」のイメージ /
   * 選定理由: 「ultimat(最後通告)」のニュアンスを、「末(最終)＋告(告げる)」の2字で簡略的に表現。厳密な定訳ではないが「最後の知らせ」のイメージを作りやすい。
   * 学習コスト: 「末」は既出・「告」(7画)も比較的わかりやすい。
2. imperfekt / 半过 / 「半過去」のニュアンス /
   * 選定理由: 「imperfekt」は文法用語で「半過去」。そこで「半(半分)＋过(過去・通り過ぎ)」で構成し、“未完了の過去”のイメージを作れるようにした。
   * 学習コスト: 「半」(5画)・「过」(Simplified字形で7画程度だが常用) ともに学習しやすい。
3. eks / 前 / 「以前の, 前任の」のニュアンス /
   * 選定理由: 接頭辞「eks-」は「前〜」「元〜」を表すため、「前」が最も直接的・日中双方にわかりやすい。
   * 学習コスト: 画数9だが、「前」は非常に頻出するため学習上の負担は比較的低い。
4. preterit / 过 / 「過去形」のイメージ /
   * 選定理由: 「preterit」は文法用語で「過去時制」。シンプルに「过」(過去・経過の意)で表す。
   * 学習コスト: 既に(3)などで使用している「过」を再利用。文字数を節約できる。
5. is / 过 / 「動詞の過去形語尾」を表す /
   * 選定理由: Esperanto の過去形語尾「-is」を、「过」で再度対応。文法的意味は上付き文字等で区別する想定。
   * 学習コスト: (5)と同じ「过」で学習コストを低減。
6. l' / 这 / 「定冠詞 la の略」を指す仮対応 /
   * 選定理由: 原義としては「la」の省略形。定冠詞の直接対応は漢字にないため、中国語の「这(これ)」を仮に割り当て。“何かを特定する”ニュアンスだけを借用。
   * 学習コスト: 後述(20)「la」と同じく「这」を使い回す。
7. je / 于 / 「広義の前置詞(に, で, を...)」 /
   * 選定理由: Esperanto で汎用的に使われる前置詞「je」。古風ながら「于」は「〜において」「〜に対して」を広範に示す漢字。
   * 学習コスト: 画数3と少なく、中国語でも「对于」「属于」などで頻用する要素。
8. ke / 之 / 「〜ということ(従属節を導く)」 /
   * 選定理由: Esperanto の接続詞「ke(〜ということ)」を、古漢語での文末接続要素や形式語として使われる「之」に対応させた。厳密に「that」に相当する単漢字がないため、簡便的に割り当て。
   * 学習コスト: 画数3、古典的だが短く、日本人にも字面は馴染み深い。
9. ing / 匣 / 「さや・容器」のイメージ /
   * 選定理由: 「-ing」は「さや・ホルダー・ケース」など“何かを差し込む容器”を表す。簡体字圏ではやや古風だが「匣」は“小箱・さや”を意味し、比較的イメージが近い。
   * 学習コスト: 画数6、やや旧字体的だが、他候補(盒/袋/套 など)と比べれば文字自体はシンプル。
10. um / 么 / 「特定の意味を持たない接尾辞」 /
    * 選定理由: Esperanto の「-um」は不定・曖昧な働きをするため、中国語で語尾的にしばしば出現する「么(什么/那么など)」を借用。「何となく付く語尾」の感触を出せる。
    * 学習コスト: 画数3、口偏＋幺(ヨウ) の組み合わせで、学習コストは低め。
11. int / 已 / 「能動・完了分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-int」は完了(すでに終わった)の能動分詞。既に終わったニュアンスの「已(すでに)」が最適。
    * 学習コスト: 画数3と少なく、中国語・日本語どちらも「すでに」の意味で比較的認知されている。
12. it / 已被 / 「受動・完了分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-it」は完了(すでに終わった)かつ“受動”なので、「已(すでに)＋被(受ける)」の二字を組み合わせて表現。
    * 学習コスト: 既出「已」(3画) と「被」(7画) を組み合わせるだけで、派生的に学べる。
13. ant / 现 / 「能動・現在分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-ant」は“今まさに〜している”能動分詞。シンプルに「现(現在・今)」に割り当て。
    * 学習コスト: 画数8、ただし「现在」「发现」などでよく出るため中国語圏では馴染み深い。
14. at / 被现 / 「受動・現在分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-at」は現在進行中の“受動”表現なので、「被＋现」で「今まさに〜されている」状態を表すことにした。
    * 学習コスト: (14)と(13)で既出の要素を組み合わせるだけ。
15. ont / 未 / 「能動・将来分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-ont」は“これから〜しようとしている”形。「未(まだ〜していない)」に将来的ニュアンスを読み取り割り当て。
    * 学習コスト: 画数5、漢字圏では「未来」「未完」「未然形」など「未＝これから/まだ」のイメージは理解しやすい。
16. ot / 被未 / 「受動・将来分詞」を示す /
    * 選定理由: 「-ot」は“これから〜されようとしている”受動。ゆえに「被(受動)＋未(未来)」。
    * 学習コスト: (16)の「未」と(13)の「被」を再利用。
17. as / 现 / 「動詞の現在形語尾」 /
    * 選定理由: Esperanto 動詞現在形「-as」を「现(いま)」に重ねて対応。「ant(現在分詞)」と同じ文字を使い、区別は上付きなどで。
    * 学習コスト: (14)で既出の「现」を再利用。
18. os / 未 / 「動詞の未来形語尾」 /
    * 選定理由: Esperanto 動詞未来形「-os」を「未」で対応。(16)「ont」と同じく“まだ起きていない”ニュアンス。
    * 学習コスト: 既出の「未」を再利用。
19. la / 这 / 「定冠詞」 /
    * 選定理由: Esperanto の定冠詞「la」。厳密対応は難しいが、中国語の指示詞「这(これ)」を借り、(7)「l'」と同一字でまとめる。
    * 学習コスト: (7)で既出のため追加負担はなし。
20. us / 若 / 「条件法(もし〜なら)」 /
    * 選定理由: 「-us」は条件法や仮定法を表す。古典的だが「若(もし〜なら)」が“if”のニュアンスを示す。
    * 学習コスト: 画数8だが古今の用例があり、日本語話者も「若しか(もし)」で意味を連想しやすい。
21. aŭstrali / 澳 / 「オーストラリア」 /
    * 選定理由: 中国語では「澳大利亚」が正式。略称としては「澳」が広く用いられる(例:「澳洲」「澳币」)。
    * 学習コスト: 画数15とやや多めだが、地名略字としては認知度が高い。
22. izrael / 以色列 / 「イスラエル」 /
    * 選定理由: 中国語での正式表記「以色列」をそのまま採用するのが自然。1文字に省略できる公的略字は存在しない。
    * 学習コスト: 合計でやや画数は多いが、有名国名としては受容度が高い。
23. ernest / 欧内 / 「エルネスト」 /
    * 選定理由: 通常は「欧内斯特」などと音訳されるが、フル表記(欧内斯特)はやや長いため、ここでは前半「欧内」で簡略化。
    * 学習コスト: 「欧」(8画) と「内」(4画) のみでまとめ、フル表記より負担を軽減。
24. aleksandr / 亚历山 / 「アレクサンダー」 /
    * 選定理由: 中国語で「亚历山大」が一般的な表記だが、やや長いので「亚历山」で略(口語でも通じやすい)。
    * 学習コスト: いずれも頻度の高い地名・人名音訳要素。総画数はそこそこだが、有名名称として妥当。

krokodil / 鳄 /  
選定理由: 「鳄鱼(ワニ)」の“鳄”に相当。アフリカ産ワニを示す代表的漢字を簡略形で流用。  
学習コスト: 1文字にまとめることで負担減。後述の aligator と同字を再利用し、漢字種類を抑える。

1. aligator / 鳄 /  
   選定理由: 「短吻鳄」などもあるが画数・文字数が増えるため、krokodil と同じ“鳄”を再利用。エスペラント学習上は上付き文字等で区別予定。  
   学習コスト: krokodil と同文字の使い回しにより、追加負担が少ない。
2. rus / 俄 /  
   選定理由: ロシア(俄罗斯)の略称として広く使われる“俄”。簡体・日本語双方で「俄国」という形でも通じる。  
   学習コスト: 新規文字だが比較的画数は少なめ(7～8画程度)。
3. pol / 波 /  
   選定理由: ポーランド(波兰)の略称。中国語でも「波兰」を指す“波”を転用。  
   学習コスト: 既存の簡体字の中では画数は多くない(8画)ので比較的取り組みやすい。
4. hispan / 西 /  
   選定理由: スペイン(西班牙)の略称。中国語でも新聞などで「西」と略すことがある。  
   学習コスト: 画数(6画)が少なく、非常にシンプル。
5. franc / 法 /  
   選定理由: フランス(法国)の略称“法”。日本語圏でも「仏」のイメージがあるが、簡体圏では「法」が通用する。  
   学習コスト: 8画程度でそこまで多くはない。国名略称で頻出するため認知度は高い。
6. angl / 英 /  
   選定理由: イギリス(英国)の略称“英”。日本語でも「英語」「英国」の字として馴染み深い。  
   学習コスト: 8画で比較的学びやすく、広く認知されている。
7. german / 德 /  
   選定理由: ドイツ(德国)の略称“德”。  
   学習コスト: やや画数(14画)は多めだが、「徳」と形が近く、日本人にとっても意味を連想しやすい。
8. meriz / 樱 /  
   選定理由: 「野生のサクランボ」を示す語根。中国語で「樱桃(サクランボ)」の中心字“樱”を単体流用。  
   学習コスト: すでにサクラ類を示すイメージに使われる“樱”のみで簡潔。後述の ĉeriz でも“樱”を再利用予定。
9. api / 芹 /  
   選定理由: 「(野生)セロリ」に関する漢字。“芹菜”の核心部「芹」を流用。  
   学習コスト: 新規導入だが画数(7画)は多くない。セロリ系統だと日本人にも「芹(せり)」を連想しやすい。
10. primol / 樱草 /  
    選定理由: サクラソウの中国名は「报春花」や「樱草」があるが、“樱”をすでに採用しているため、「樱草」として簡略化。  
    学習コスト: 既出の“樱”に「草」(9画)を加えるのみ。既存偏旁の応用で覚えやすい。
11. ĉeriz / 樱桃 /  
    選定理由: サクランボの標準的な中国語。「樱」単体だと曖昧なため、定番の「樱桃」とした。  
    学習コスト: “樱”は既出、追加の“桃”(10画)のみで済む。
12. granat / 石榴 /  
    選定理由: ザクロは中国語で「石榴」が一般的。  
    学習コスト: “石”(5画)と“榴”(14画)の2字。やや画数は多いが、ザクロを指す代表的名称。
13. gros / 醋栗 /  
    選定理由: グースベリーの通称。「醋栗」が標準的(「灯笼果」は別種のことも多い)。  
    学習コスト: “醋”(15画)と“栗”(10画)でやや多めだが、後述のクリ(栗子)と“栗”を共用できる。
14. framb / 树莓 /  
    選定理由: ラズベリーは現代中国語で「树莓」がよく使われる(「覆盆子」表記より画数が少ない)。  
    学習コスト: “树”(9画)と“莓”(10画)。後述の berry 系で“莓”を再利用。
15. avel / 榛子 /  
    選定理由: ヘーゼルナッツ(ハシバミ)は「榛子」が一般的。  
    学習コスト: “榛”(14画)＋“子”(3画)。ナッツ類を示す字として覚えやすい。
16. morus / 桑果 /  
    選定理由: 桑の実を「桑葚」ともいうが、“果”(8画)を再利用した「桑果」の方が画数が少ない。  
    学習コスト: 新規は“桑”(10画)のみで済み、“果”は後述の frukt 等でも再使用予定。
17. kaŝtan / 栗子 /  
    選定理由: クリ(食用の栗)は「栗子」が標準的。  
    学習コスト: “栗”(10画)と“子”(3画)。すでに “栗” は #14 の醋栗と共通。
18. oksikok / 小红莓 /  
    選定理由: クランベリーを中国では「蔓越莓」や「小红莓」とも呼ぶ。後者の方が画数が少なく、分かりやすい。  
    学習コスト: “小”(3画)と“红”(6画)のみ追加で、“莓”(10画)は再利用。
19. rubus / 黑莓 /  
    選定理由: ブラックベリーは「黑莓」が一般的。  
    学習コスト: 新規“黑”(12画)のみで、「莓」はすでにラズベリー等で使われている。
20. truf / 块菌 /  
    選定理由: トリュフは「松露」(松+露)もあるが、画数が多いため「块菌」の方が簡潔(専門書でもよく使う)。  
    学習コスト: “块”(7画)と“菌”(9画)で合計16画。いずれも汎用性のある部首(土偏、艹偏)を含む。
21. kres / 西洋菜 /  
    選定理由: クレソン(オランダガラシ)は「豆瓣菜」表記もあるが、未出文字が3つ増えるため、「西洋菜」で簡略化。  
    学習コスト: “西”(既出)＋“洋”(9画)＋“菜”(11画)で2文字分の追加にとどまる。
22. frukt / 果实 /  
    選定理由: 「果実」を指す標準的な中国語。植物学・農学的にも「果实」が通用。  
    学習コスト: “果”(既出見込み)＋“实”(8画)のみ新規で済む。「水果」は日常的だが「果实」の方が学術的な意味に近い。
23. ber / 莓 /  
    選定理由: ベリー全般を示す根。より専門的には「浆果」だが、すでに「莓」をいくつかの果実名で使用しているため単字化。  
    学習コスト: “莓”は #15, #19 などで既出なので追加負担なし。
24. fig / 无花果 /  
    選定理由: イチジクの中国語は「无花果」が定番。  
    学習コスト: “无”(4画)と“花”(7画)は新規だが、いずれも使用頻度が高い。“果”は既出。

rib

swift

Copy

rib/莓/カラント類は英語でも“berry”の一種とされる場合があり、総称的に「莓」を流用可能と判断/草かんむり(艹)が再利用でき、ベリー系全般に応用しやすい

1. abrikot

swift

Copy

abrikot/杏/アンズ(杏)を表す簡体字で画数も少ない/「木」偏で果実と連想しやすく、学習コストは比較的低い

1. kokos

swift

Copy

kokos/椰/ココナッツ(coconut)の中心字として「椰」が一般的/「木」偏で植物を連想しやすいがやや画数が多め

1. daktil

swift

Copy

daktil/椰枣/「椰」と「枣」で「ナツメヤシの実(デーツ)」を示す既存表記/「椰」は前項kokosで既出、枣(8～10画程度)はやや新規だが用途が限られる

1. nuks

swift

Copy

nuks/坚果/「ナッツ」を表す一般的な漢語/「果」を再利用でき、堅い果実全般をイメージしやすい

1. jugland

swift

Copy

jugland/核桃/クルミを表す標準的な簡体字表記/「桃」(後述persikで利用)を再使用でき、核(木＋亥)も果実関連で理解しやすい

1. cidoni

swift

Copy

cidoni/榲桲/マルメロを指す標準的な簡体字(ややマイナー)/画数が多く新規漢字2つになるため学習コスト高。必要なら「未対応」検討も可

1. melon

swift

Copy

melon/瓜/「メロン」全般を指すシンプルな1文字/画数が少なく、ウリ科のイメージもしやすい

1. prun

swift

Copy

prun/李/プラム(スモモ)を表す簡体字/「木」偏で果樹と連想しやすく、画数も比較的少ない

1. persik

swift

Copy

persik/桃/モモを表す標準的な簡体字/「木」偏で果樹とわかりやすく、核桃(jugland)とも一部文字を共有

1. oliv

swift

Copy

oliv/橄榄/オリーブを表す標準表記/やや画数多めだが汎用的な名称。木偏で果実と結びつけやすい

1. oranĝ

swift

Copy

oranĝ/橙/オレンジを表す簡体字/「木」偏。「柑」(柑橘)より「橙」の方が“オレンジ”のイメージに直結しやすい

1. pir

swift

Copy

pir/梨/ナシを表す簡体字/「木」偏で果樹のイメージ。画数はやや多めだが日中で通じやすい

1. mirtel

swift

Copy

mirtel/莓/ヨーロッパ越橘やブルーベリー系を含む“ベリー”の一種として「莓」を流用/すでにribでも「莓」を用いており、草かんむりの再利用で学習効率を高める

1. pom

swift

Copy

pom/苹果/リンゴの標準的な簡体字表記/「果」を再使用でき、ポピュラーな果物名のため学習コスト許容範囲

1. frag

swift

Copy

frag/草莓/イチゴを表す標準的な簡体字/「莓」を再使用でき、草かんむり(艹)との組合せで“草の実”としてイメージしやすい

1. vanil

swift

Copy

vanil/香草/バニラを指す一般的な呼称(特に料理・香料分野)/「香」(のちの香蕉などでも使う可能性あり)と「草」で構成され学習しやすい

1. banan

swift

Copy

banan/香蕉/バナナの標準的な簡体字/「香」をvanilから、「艹(草)」偏(蕉)は他の植物名とイメージ連動可能

1. ananas

swift

Copy

ananas/菠萝/パイナップルの標準的な簡体字(中国大陸で一般的)/草かんむり(艹)が含まれ他の果物表記とも関連づけやすい

1. tomat

swift

Copy

tomat/番茄/トマトを表す簡体字の一つ(「西红柿」より画数が少なめ)/「番」は外来由来、「茄」はナス科の連想がしやすい

1. cep

swift

Copy

cep/洋葱/タマネギを表す簡体字/「葱」は草かんむり(艹)再利用。「洋」は水偏(氵)で外来要素を感じさせるが常用

1. karot

makefile

Copy

karot/胡萝卜/ニンジンの一般的表記/「萝」は他の“萝”入り野菜(例:萝卜)とも関連。やや画数多めだが標準で通じやすい

1. pore

swift

Copy

pore/韭葱/リーキ(ポロネギ)の簡体字/「韭」はニラ、「葱」はねぎ類。新規要素あるが既存植物名

1. rafan

swift

Copy

rafan/萝卜/ダイコン(ラディッシュ含む)を指す一般的表記/「萝」はkarot(胡萝卜)と共通で学習コスト削減

1. ter/pom##

bash

Copy

ter/pom##/土豆/ジャガイモの中国大陸での一般的呼称/画数が少ない「土」と「豆」で構成され分かりやすい

kukum

* + 黄瓜
  + 中訳「黄瓜」は、現代中国語で「きゅうり」を意味する最も一般的な表現。日本語でも「黄瓜(きゅうり)」と書く用例があり、連想しやすい。
  + 「黄」「瓜」の2文字はいずれも汎用性が高く、後述の他の「瓜」類とも合わせやすい。

1. brasik
   * 甘蓝
   * 中国語では「キャベツ」全般を指し得る名称として「甘蓝」が用いられる（「卷心菜」など他の呼称もあるが画数多め）。日本語でも「甘藍(カンラン)」は古くからある呼称。
   * 2文字で比較的画数も少なく、学習コストが高くなりにくい。
2. kukurb
   * 南瓜
   * 中国語の「南瓜」は「かぼちゃ」を表す代表的な名称。日本語でも「南瓜(なんきん)」と書いて「かぼちゃ」と読む例あり。
   * 「瓜」を再利用でき、「黄瓜」と同じく“瓜”系列でまとめられる利点がある。
3. elizabet
   * 伊丽
   * 本来は「伊丽莎白」と4文字になるが、画数を減らしつつ意味を推測しやすい省略形として「伊丽」を提案。中国語話者には「伊丽莎白」の派生と連想しやすい。
   * 外国人名の音訳はどうしても文字数が増えがちなので簡略化。日本語話者にも「イリ…」程度の音写とわかる可能性がある。
4. alibi
   * 不在场
   * 中国語で「アリバイ」は「不在场证明」が正式だが、4文字以上になるため「不在场」(現場にいない)と簡略化。
   * 意味としては「現場不在」を示唆し、アリバイの核心を捉えている。3文字で比較的覚えやすい。
5. arabesk
   * 蔓纹
   * 「arabesque(アラベスク)」は「唐草模様」「蔓草文様」などの意。中国語で「蔓藤花纹」とも言うがやや長めなので「蔓纹」とした。
   * 「蔓」(つる)と「纹」(模様)の2字で構成し、画数を抑えつつ“唐草(蔓草)模様”をイメージできる。
6. alkov
   * 凹室
   * アルコーブ(alcove)は「壁の凹んだ小部屋・くぼみ」を指す。中国語で「壁龛」「凹室」などが候補だが、「壁龛」は宗教的ニュアンスが強めなので「凹室」を選択。
   * 凹(5画)＋室(9画)＝合計14画で比較的少ない。
7. arnik
   * 山金车
   * 「アルニカ(arnica)」は生薬名などで、中国語では「山金车」が広く使われる。
   * 3文字だが、中国語圏での標準的呼称なので意味を誤解されにくい。
8. angelik
   * 当归
   * 「アンゼリカ(Angelica)」は種によって「当归(Angelica sinensis)」「欧当归」など複数呼称がある。ここでは広く知られる「当归」を採用。
   * 画数は少なめ(当:6画, 归:3画)かつ漢方でも有名。
9. atripl

* 滨藜
* 「ハマアカザ(Atriplex)」は中国語で「滨藜」などが当てられる。
* やや専門的だが、2文字にまとめられ、対応する正式名称としては短い部類。

1. akaci

* 金合欢
* 「アカシア」(Acacia)のうち、中国語では総称として「金合欢」を使うことが多い(種により「相思树」なども)。
* 3文字だが、比較的よく見られる表記で、認識されやすい。

1. aspid

* 眼镜蛇
* 「エジプトコブラ」等を含む“asp”の一種にあたる毒蛇。中国語でコブラは「眼镜蛇」が一般的。
* 3文字だが知名度が高く、意味は連想しやすい。

1. utopi

* 乌托邦
* 中国語の「ユートピア」の一般的音訳。
* 3文字ながら中国語圏では定着した表現で、日本語話者も「乌托邦＝ウートーバン＝Utopia？」と察しやすい。

1. esperant

* 世界语
* 「エスペラント」は中国語で「世界语」が定訳。
* 文字通り“世界の言語”というニュアンスがあり、2字と短く覚えやすい。

1. eŭrop

* 欧洲
* 「ヨーロッパ」を意味する中国語の標準表記。
* 2文字で汎用性が高い(「欧」や「洲」は他の地理名にも応用可能)。

1. amfor

* 双耳瓶
* アンフォラ(amphora)は両側に取っ手のついた壺。中国語圏では「双耳瓶」などの表現が分かりやすい。
* 3文字だが、文字通り「耳が二つある壺」なので意味が推測しやすい。

1. ambrozi

* 神食
* アンブロシア(ambrosia)は「神々の食物」。
* 正式には「神仙食品」「美味佳肴」など候補があるが、学習コストを下げるため2文字の「神食」を提案。
* 短いが「神の食べ物」というイメージを残せる。

1. obol

* 欧波尔
* 古代ギリシャの貨幣「オボロス」。中国語の一般的表記は定着していないが、音訳として「欧波尔」が使われる場合がある。
* 「欧」は既出(欧洲)で再利用でき、文字総数の抑制にもつながる。

1. ur

* 原牛
* 「aurochs(ヨーロッパの原牛)」は中国語で「原牛」。
* 2文字で直裁的かつ画数も少ない(原10,牛4)。

1. ogiv

* 尖拱
* オジーブ(ogive)は建築用語で「尖頭アーチ」「尖拱」など。
* 2文字(尖6,拱8)と短めで、意味も「尖ったアーチ」と理解しやすい。

1. hoboj

* 双簧管
* オーボエ(oboe)の中国語名称。「雙簧管」とも書くが、簡体字で「双簧管」。
* 3文字ながら楽器名として定着しており、中国語・日本語双方が楽器と分かる。

1. oaz

* 绿洲
* 「オアシス」の中国語表記。日本語でも「緑洲」という表現は通じやすい(当て字的表現として存在)。
* 2文字(绿11,洲9)だが割と一般的で意味がつかみやすい。

1. ozon

* 臭氧
* 「オゾン」は中国語で「臭氧」と表記。
* 2文字(臭10,氧8)で、化学用語としても定着。

1. tarif

* 税率表
* 関税表・料金表の意。中国語では「关税表」「费率表」「税率表」等の表現があるが、ここではシンプルな「税率表」を選択。
* 「税」「率」「表」の3文字はどれも汎用性が高い。

1. akciz

* 消费税
* 「消費税」「物品税」を指す。中国語では「消费税」が一般的。
* 「消」「费」「税」はすでに出てきた(または応用範囲が広い)字と組み合わせやすい。

impost / 税 /

* + 選定理由: 「税」は日中共に「税金」を連想しやすく、意味が明確。
  + 学習コスト: 単独1文字で画数も比較的少なく、初出。

1. dogan / 关税 /
   * 選定理由: 「関税」の簡体字形。日中共に「税関」「関税」をすぐ連想できる。
   * 学習コスト: すでに「税」は登場済み。新たに「关」(≒「関」)のみ追加。
2. aĝi / 溢 /
   * 選定理由: 原義は「agio（為替差益・プレミアム）」のようなやや専門的概念。漢字1文字で近い概念を示すのは難しいが、「溢」は“余剰”“上乗せ”といったニュアンスで妥協的に割当。
   * 学習コスト: 新出字だが、ほかの「余剰」「超過」などにも転用可能。やや画数は多め。
3. helik / 蜗牛 /
   * 選定理由: 中国語でカタツムリを表す一般的な語。「蜗」単独では伝わりにくいため、2文字熟語で割当。
   * 学習コスト: 「蜗」は虫偏でやや画数が多いが、「牛」は画数が少なく既知度も高い。
4. trust / 托拉斯 /
   * 選定理由: 中国語で「企業連合としてのトラスト」を指す定訳的外来語。
   * 学習コスト: 「托」「拉」「斯」はいずれも比較的よく使われる表記(音訳)要素。3文字だが意味把握しやすい。
5. makler / 经纪 /
   * 選定理由: 「经纪人(ブローカー)」の略形。「仲介」の意味が分かりやすい。
   * 学習コスト: 「经」「纪」ともに画数は中程度。ビジネス関連で再登場の可能性あり。
6. komerc / 商 /
   * 選定理由: 「商」は日中ともに「商売」「商業」を直接連想させる1文字。
   * 学習コスト: 単独字で画数も少なく、ビジネス関連で汎用性が高い。
7. negoc / 商 /
   * 選定理由: 「komerc(商売)」とほぼ重なる概念として同じ字を使い回し。後で上付き文字等で区別可能。
   * 学習コスト: 新規追加なし。重複利用により学習負荷削減。
8. fabrik / 工厂 /
   * 選定理由: 「工場」を意味する簡体字表現で分かりやすい。
   * 学習コスト: 「工」は画数少なめ、「厂」は2画で比較的単純。2文字だがいずれも基本的。
9. manufaktur / 手工厂 /

* 選定理由: 「手工(手作り)＋工厂(工場)」で「手工業的な工場」を想起させる簡易表現。
* 学習コスト: 「手」は新出だが画数は4画と少なく、「工」「厂」は既出。

1. maŝin / 机 /

* 選定理由: 中国語では「机」は「機械」の意を含むことも多い。短く、日中で「機械／デスク」など広義に通じる。
* 学習コスト: 画数も少なく、シンプル。

1. aŭtomat / 自动机 /

* 選定理由: 「自動機」を意味する標準的な三文字熟語。
* 学習コスト: 「机」は既出、「自」「动」は日常的によく使われる字で汎用性が高い。

1. central / 中央 /

* 選定理由: 「中央施設」等を連想しやすい。簡体字でも「中央」は同形。
* 学習コスト: 「中」は画数が少なく非常に汎用的。「央」も5画で比較的単純。

1. motor / 发动机 /

* 選定理由: エンジン・モーター全般を指す中国語で一般的な表現。
* 学習コスト: 「动」「机」は既出、「发」だけ新出(5画)で比較的覚えやすい。

1. lokomobil / 拖拉机 /

* 選定理由: 「牽引式エンジン＝トラクター」的な意味で「拖拉机」が一般的。
* 学習コスト: 「机」は既出、「拖」「拉」は「托拉斯」等で部分的に既出の場合があり、再利用可。

1. asperg / 浇 /

* 選定理由: 「水をまく・注ぐ」ニュアンスとして中国語で「浇(浇水)」が一般的。
* 学習コスト: 新出字だが9画で、用途(「浇花」「浇水」など)も広い。

1. akv / 水 /

* 選定理由: 水を表す最も基本的な一字。日中共通で筆画も少ない。
* 学習コスト: 既知度抜群。

1. hidrostatik / 静水 /

* 選定理由: 「静止した水」の意で「静水」。「水静力学」の略イメージ。
* 学習コスト: 「水」は既出、「静」は12画だが「静音」「安静」など汎用性あり。

1. likv / 液 /

* 選定理由: 中国語で「液体」を示す字の中核。単独でも「液(=液状のもの)」を連想可能。
* 学習コスト: 11画とやや多めだが、複合語(血液、溶液など)にも転用可。

1. fluid / 流体 /

* 選定理由: 「流体」は液体・気体を含む広義の「流れる物質」を指す中国語の一般用語。
* 学習コスト: 「流」は後述(22番)で再利用、「体」は新出(7画)だが常用。

1. kurent / 电流 /

* 選定理由: 「電流」を意味する標準的な2文字熟語。
* 学習コスト: 「电」(5画)新出、「流」は再利用で効率的。

1. flu / 流 /

* 選定理由: 「流れる・流れ」の意味を最も端的に示す字。
* 学習コスト: 多方面(「电流」「激流」等)に転用可能で学習効率が高い。

1. torent / 急流 /

* 選定理由: 「激しい流れ＝急流」の表現が分かりやすく、画数も比較的少ない。
* 学習コスト: 「流」は既出、「急」(9画)だけ新たに追加。

1. frost / 冻 /

* 選定理由: 「凍る」「凍結する」の意を持ち、中国語では寒さを強調する際にも用いられる。
* 学習コスト: 単独1文字で比較的覚えやすい(7画)。日本語での「凍」と同系。

1. prujn / 霜 /

* 選定理由: 「霜」を直接示す最も基本的な漢字。
* 学習コスト: 画数は多め(17画)だが、日中いずれでも「霜＝frost」の対応が明快。

neĝ / 雪 / 「雪」を直接表す常用字 / 日本語・中国語とも馴染みが深く、学習コストが比較的低い

1. glaci / 冰 / 「氷」を意味する最も基本的な簡体字 / 画数少なく、日中で認知度が高い
2. vintr / 冬 / 「冬」を意味する常用字 / 短く画数も少ないため学習しやすい
3. aŭtun / 秋 / 「秋」を意味する常用字 / 日中ともに同形で理解しやすい
4. somer / 夏 / 「夏」を意味する常用字 / 日中で共通認識しやすい
5. printemp / 春 / 「春」を意味する常用字 / 季節名として日中で通じ、画数も比較的少ない
6. tromb / 龙卷风 / 竜巻(とくにトルネード)の標準的な中国語表現 / 「风」は他の風関連語根でも使用する見込みがあり、再利用しやすい
7. diluv / 洪水 / 「ノアの洪水」など“大水”の意味で最も一般的 / 2文字だがいずれも比較的高頻度字
8. tondr / 雷 / 「雷」を表す常用字 / 日中で同じイメージを共有しやすい
9. tempest / 暴风雨 / 暴風雨を直接表す熟語 / 「风」「雨」は他でも再利用可能な高頻度字
10. uragan / 飓风 / 「ハリケーン」を意味する一般的な語 / 「风」を再利用できる点で有用
11. zefir / 微风 / 「そよ風」「やわらかな風」を示す常用表現 / 「风」を再利用しやすいが、「微」は若干画数あり(ただし意味の明確さ重視)

* ※「和风」も選択肢だが、日本語「和風」と混同される可能性を考慮して「微风」を採用

1. ond / 波 / 「波」を意味する簡体字 / 画数は多め(8画)だが広く使われる常用字
2. blov / 吹 / 「吹く」を直接表す一般的漢字 / 画数少なく動詞の意味が明確
3. vent / 风 / 「風」の意味を持つ最頻用字 / 今後も風関連で再利用される見込みが高い
4. ciklon / 气旋 / 「低気圧」「サイクロン」を指す標準的な表現 / 「气」「旋」共に比較的使用頻度高め
5. nub / 云 / 「雲」を表す簡体字 / 日本語の「雲」と字形が異なるが、画数は減っていて学習は容易
6. nebul / 雾 / 「霧」を表す簡体字 / 画数8画と比較的低め、意味が明確
7. pluv / 雨 / 「雨」を意味する基本漢字 / すでに「风雨」などでも用いる見込み
8. hajl / 冰雹 / 「雹」だけでも通じるが「冰雹」が一般的 / 「冰」は既出で再利用しやすい
9. aŭkci / 拍卖 / 「オークション」「競売」の標準表現 / 2文字ながら使用頻度が高く意味が直接的
10. marĉand / 讲价 / 値切る・交渉する意味に最も近い短い表現 / 4文字の「讨价还价」より学習コストを抑えた
11. vend / 卖 / 「売る」を直接表す基本漢字 / 画数7画で、商行為系の文脈で再利用性が高い
12. kolport / 贩卖 / 行商・小売・転売を含む「売り歩く」ニュアンス / 「卖」を再利用しつつ「贩」を加えることで行商の意味合いを補強
13. brokant / 二手买卖 / 中古品(古物)の売買をまとめて示す表現 / 「买」「卖」は既出で、「二」「手」の2字追加のみで済み比較的学習コストを抑えられる

ĉarlatan / 骗 / 「騙(骗)」は「人を欺く」意味が明確 / 中国語でも頻出するため比較的学習しやすい

1. komiz / 员 / 「職員・店員」を表す「员(員)」を採用 / 中国語でも人を表す接尾辞的な使われ方が多く汎用性が高い
2. magazen / 库 / 「倉庫・保管場所」の意。「仓库」の「库」部分 / 画数が少なく、データベース(数据库)などでも使われ頻度が高い
3. butik / 店 / 「店」を直接表す常用漢字 / 日本語でも「店」は馴染みがあり、中国語の「商店」「店铺」などでも使われる
4. akci / 股 / 「株式・持ち分」を表す漢字として「股(=share)」が簡潔 / 「股东(株主)」「股票(株式)」などにも使われる
5. bors / 股市 / 「株式市場」の意で「股市」を採用 / 「股」＋「市」を再利用し、意味も直観的
6. foir / 市 / 「定期市・大規模な市」の意を簡潔に「市」で / 「市场」など広く応用可能
7. bazar / 市 / 「バザー、市場」も同じく「市」で兼用 / 同字使い回しで学習コストを低減
8. merkat / 市 / 「(商)市場」を示す代表的な漢字 / 同じく「市」で再利用
9. farm / 农 / 「農業・農」の意味合いで「农(農)」 / 中国語で頻出し、日本語でも「農」は理解しやすい
10. lu / 租 / 「賃借・賃貸」には「租」が標準的 / 「出租(貸す)」「租房(部屋を借りる)」などでも使う
11. hipotek / 抵押 / 「抵当・抵当に入れる」=「抵押」 / やや画数は増えるが、中国語での標準的表現
12. koncesi / 特许 / 「特別に許可する」「フランチャイズ(特許営業)」を表す / 中国語「特许经营」などでも使われる
13. solvent / 偿 / 「支払い能力がある」をイメージして「偿(償)」を流用 / 「偿还(返済)」などで「払える」ニュアンスを表せる
14. kvit / 清 / 「借金や負債などが清算済み、借りがない」イメージで「清」 / 中国語でも「结清(決済済み)」など「清」の字が「完済」を連想させる
15. kreditor / 债主 / 「債権者」は口語的に「债主(=お金を貸している側)」 / 既出の「债」を使い回し＋「主」で意味を補足
16. ŝuld / 债 / 「債務・借り」がある状態を直接表現 / 「负债(負債)」などにも用いられる常用字
17. debet / 借 / 中国語の会計用語で「借方」は「借」 / エスペラントの「debet(デビット)」に対応させやすい
18. obligaci / 债券 / 「債券」を直訳した「债券」 / 既出の「债」＋新しい「券」だが、金融用語として定着
19. prunt / 借贷 / エスペラントでは「貸す/借りる」が同根なので「借貸(借贷)」で両義をカバー / 「借」と「贷」は会計用語とも連携
20. kredit / 贷 / 会計上の「貸方」は「贷」で表され、「信用貸款(クレジット貸し)」などにも使える
21. polis / 保单 / 「保険証券＝ポリス」は中国語で「保单」 / 「保」字は他の保証・保険関連でも再利用可
22. kaŭci / 押金 / 「保証金・敷金・バイル」などに使われる / 既に出た「押(抵押)」＋「金」で費用をイメージしやすい
23. asekur / 保险 / 「保険」は中国語で「保险」 / 「保」字を使い回し、画数はやや多いが一般的
24. garanti / 保证 / 「保証する」=「保证」 / 「保」字を再利用、対になる「证」で「確かな証明」のニュアンス

bilanc / 资产负债表 /

* + 選定理由: 「貸借対照表」を指す標準的な中国語表現。
  + 学習コスト: 4つの主要漢字(资, 产, 负, 债)＋「表」。いずれもビジネスや金融関連で頻出なので、使い回しがある程度期待できる。

1. kont / 账 /
   * 選定理由: 「口座」「勘定」「帳簿」等を指す簡潔な1文字。口語でも「结账(会計を締める)」などによく使われる。
   * 学習コスト: 「账」は部首が“贝”で金銭関連を示すことが多く、金融・会計用語に応用可能。
2. sald / 结账 /
   * 選定理由: 会計を「精算・決済する」「貸借をバランスさせる」ニュアンスに対応する一般的な表現。
   * 学習コスト: 「账」は既出。「结」(糸偏＋吉)は日常でも「結果」「结论」「结束」など多方面で使用される頻出字。
3. klav / 键 /
   * 選定理由: ピアノの鍵盤、パソコンのキーボードなどを指すときの「キー」に対応するシンプルな1文字。
   * 学習コスト: 金偏の「键」は「按键(ボタン)」「键盘(キーボード)」などで汎用性があり、比較的学習しやすい。
4. fortepian / 大钢琴 /
   * 選定理由: グランドピアノの意味。中国語では「三角钢琴」とも言うが、ここでは画数が少なめの「大＋钢琴」で表現。
   * 学習コスト: 「大」は最頻出字の一つ。「钢」「琴」は後述「钢琴」「小提琴」など音楽関連で再利用可能。
5. pian / 钢琴 /
   * 選定理由: ピアノの標準的な中国語。「鋼(钢)＋琴」で「ピアノ」を指す。
   * 学習コスト: 「钢」「琴」は楽器関連で今後も応用しやすい。いずれも比較的よく使われる部首構成。
6. violon / 小提琴 /
   * 選定理由: ヴァイオリンの一般的表現。「小＋提＋琴」でバイオリンを示す。
   * 学習コスト: 「小」「琴」は既出・高頻度字。「提」は“扌(手偏)＋是”でやや画数多めだが、日常語（提案、提高など）でも使われる。
7. pantomim / 哑剧 /
   * 選定理由: パントマイム＝台詞のない劇を指す中国語での常用表現。「哑(口がきけない)＋剧(劇)」。
   * 学習コスト: 「哑」は「口偏＋亚」。発音・表意が分かりやすく、「剧」は今後も演劇関連で頻出。
8. pulĉinel / 小丑 /
   * 選定理由: プルチネッラは道化役・ピエロ的存在。中国語圏で道化を指す「小丑」が最も近い。
   * 学習コスト: 「小」は既出。「丑」は画数が少ないため習得しやすい。
9. epilog / 后记 /
   * 選定理由: 書物や物語などの最後に付く「エピローグ」に相当する表現。「後書き」「結語」としても近い。
   * 学習コスト: 「后」「记」は常用漢字。日常の「记事」「记忆」などで頻出し、再利用しやすい。
10. prolog / 序幕 /
    * 選定理由: 物語や劇の導入部＝「プロローグ」。中国語でよく「序幕を開ける」という表現を使う。
    * 学習コスト: 「序」「幕」ともに演劇・書籍関連用語で使われ、他語彙への転用可能。
11. melodram / 情节剧 /
    * 選定理由: 「メロドラマ」＝感情や筋立てが大げさな通俗劇。中国語では「情节剧」と表現されることが多い。
    * 学習コスト: 「情」「节」「剧」はいずれも常用字で、ドラマ関連や日常表現にも登場。
12. teatr / 剧院 /
    * 選定理由: 「劇場」を指す一般的な中国語。「戏院」もあるが、近年は「剧院」がより一般的。
    * 学習コスト: 「剧」は既出。「院」は学校(学院)・病院など多くの施設名で用いられる。
13. oper / 歌剧 /
    * 選定理由: 「オペラ」に対応する最もシンプルな表現。「歌＋剧」で音楽劇を表す。
    * 学習コスト: 「歌」は日常でも使う頻出字。「剧」は演劇全般に関する漢字で継続利用可。
14. final / 终场 /
    * 選定理由: 舞台や試合などの「フィナーレ」「最終幕」に相当する言い方。
    * 学習コスト: 「终(終)」「场(場)」はいずれも画数少なめで、日常でも「最终」「现场」等に使用。
15. parter / 池座 /
    * 選定理由: 劇場の平土間(1階客席)を指す中国語で一般的な呼称。「stalls」に相当。
    * 学習コスト: 「池」は“水”偏＋也、「座」は“广”＋坐など。演劇施設関連以外でも一定頻度で登場。
16. scen / 场景 /
    * 選定理由: 「場面」「シーン」。中国語の「场景」は一般的に「光景」「シチュエーション」にも使う。
    * 学習コスト: 「场」は「場所」「回数」「状況」を示すのに多用。「景」も「风景」「背景」などで再利用可。
17. kulis / 侧幕 /
    * 選定理由: 舞台の袖や舞台裏(特にサイドの幕)を指す表現として「侧幕」を採用。「幕后」「后台」よりも「袖幕」に近い。
    * 学習コスト: 「侧」は“亻(人偏)＋则”、比較的よく使われる構造。「幕」は既出(序幕)で再利用。
18. loĝi / 包厢 /
    * 選定理由: 劇場やレストランなどの「ボックス席」にあたる表現。
    * 学習コスト: 「包」は広範に使う部首構成、「厢」は「厶＋口＋...」だが「箱(箱)」と類似しイメージしやすい。
19. suflor / 提词员 /
    * 選定理由: 劇などで役者にセリフを教える「プロンプター」に相当。「提词器」は装置、こちらは人員。
    * 学習コスト: 「提」は既出(小提琴)、「词」は「讠(言偏)+司」、「员」は人員・職員などで頻出。
20. mebl / 家具 /
    * 選定理由: 「家具」を指す最も基本的な表現。
    * 学習コスト: 「家」「具」ともに初歩レベルで学ぶ常用字。汎用性が非常に高い。
21. servic / 餐具 /
    * 選定理由: 食器セット、ディナーサービス全般を示す言い方。
    * 学習コスト: 「餐」は“食”偏関連、「具」は既出。日常でも「餐厅(食堂)」「餐饮(飲食)」などで目にする。
22. sof / 沙发 /
    * 選定理由: 「ソファー」の標準的転写語。
    * 学習コスト: 「沙」(さんずい＋少)、「发」(扌＋发(發の略))はどちらも頻出字で、合成語も多い。
23. fotel / 扶手椅 /
    * 選定理由: 肘掛け椅子、安楽椅子を指す。「扶(支える)＋手＋椅(椅子)」。
    * 学習コスト: 「扶」(扌＋夫)は常用、「手」は最も基本的な字のひとつ、「椅」は“木”偏で椅子を示す頻出字。
24. kanap / 长沙发 /
    * 選定理由: 「長椅子」「カウチソファ」に近いイメージ。「长沙发」で「長いソファー」。
    * 学習コスト: 「长」は画数が少なく汎用度が高い。「沙发」は既出で、一貫したイメージ維持が可能。

divan

* + 提案: 沙发
  + 理由: 「ソファ」「長椅子」に相当する現代中国語で最も一般的な語。
  + 学習コスト: 「沙」「发」はともに比較的使用頻度が高く、日本語話者にはやや馴染みが薄いが、現代中国語としては標準的。

1. seĝ
   * 提案: 椅子
   * 理由: 「いす」を意味するごく標準的な表記。中国語でも「椅子」は広く通用。
   * 学習コスト: 「椅(12画)」「子(3画)」。日本語・中国語ともになじみ深い語。
2. benk
   * 提案: 长椅
   * 理由: 「ベンチ」「長椅」を表す際、中国語では「长凳」もあるが、既出の「椅」を再利用することで学習コストを抑えられる。
   * 学習コスト: 新たに加わるのは「长(4画)」のみで、「椅」は既出(上記 #2)。
3. stabl
   * 提案: 台
   * 理由: 作業台・支持台など、多用途に使える「台」が簡潔で便利。
   * 学習コスト: 「台(5画)」は画数が少なく、日本語・中国語ともに汎用性が高い。
4. piedestal
   * 提案: 台座
   * 理由: 「台」と「座」の組合せで「台座」を表すのは日中で通用しやすい。
   * 学習コスト: 既出「台」と新規「座(10画)」のみで済む。
5. sokl
   * 提案: 台座
   * 理由: #5 と同じく「台座＝ペデスタル、台座」の意味で使えるため再利用。
   * 学習コスト: 既に「台」「座」を使用済みなので追加なし。
6. katedr
   * 提案: 法座
   * 理由: [宗]法座（僧や高位聖職者が座す場所）を表し、仏教用語として中国語にも存在。
   * 学習コスト: 新出は「法(8画)」のみ。「座」は#5・#6で既出。
7. podi
   * 提案: 讲台
   * 理由: 「ひな壇」「講壇」に近いイメージ。「講台」は中国語で教師や演者が使う壇を指すのに一般的。
   * 学習コスト: 「讲(6画)」が新規だが、「台」は既出。
8. tribun
   * 提案: 讲坛
   * 理由: 演壇・フォーラム・トリブンなど「演説や発表を行う壇」を指すときに使われる表現。
   * 学習コスト: 「坛(7画)」が新規。「讲」は#8で既出。
9. estrad

* 提案: 舞台
* 理由: 一般的に「ステージ」を意味し、日中ともに「舞台」は認知度が高い。
* 学習コスト: 「舞(15画)」がやや多画だが、日本語話者にも意味が通じやすい。

1. pupitr

* 提案: 讲桌
* 理由: 「見台」「机」「講義台」などに相当。中国語では講演者の机を「讲桌」と呼ぶことがある。
* 学習コスト: 「讲」は既出。新たに「桌(10画)」が増える程度。

1. aŭditori

* 提案: 讲堂
* 理由: 「講堂」「講義室」「講演ホール」等に近く、中国語の「讲堂」も通じる。
* 学習コスト: 「讲」は既出、新出は「堂(11画)」。

1. ĉarpent

* 提案: 木工
* 理由: 「大工仕事をする」「木工をする」意味があるので「木工」がシンプル。
* 学習コスト: 「木(4画)」「工(3画)」はいずれも画数が少なく、今後の転用もしやすい。

1. arĥitektur

* 提案: 建筑术
* 理由: 「建築術」を表す代表的な構成。「建筑学」もあり得るが、意味的に「術」の方が日本語の「建築術」に近い。
* 学習コスト: 「建(9画)」「筑(12画)」「术(5画)」はやや多画だが、広く通用。

1. arkitektur

* 提案: 建筑术
* 理由: #14 と同義であるため同一表現を再利用。
* 学習コスト: 新規文字はなし。

1. arkitekt

* 提案: 建筑师
* 理由: 「建築家」を意味する一般的な中国語表現。
* 学習コスト: 「建筑」は#14・#15で既出、新規は「师(6画)」のみ。

1. arĥitekt

* 提案: 建筑师
* 理由: #16 と同義のため同じ「建筑师」を割当。
* 学習コスト: 追加文字なし。

1. ŝtip

* 提案: 木头
* 理由: 「木片」「丸太」「塊状の木」などの意に対応。中国語では「木头」が一般的。
* 学習コスト: 「木」は既出、新規は「头(5画)」。

1. arb

* 提案: 树
* 理由: 「木」ではなく「樹木」を示す場合、中国語では「树」が標準的(簡体字)。
* 学習コスト: 「树(9画)」は日本語の「樹(14画)」に近く、意味推測は容易。

1. lign

* 提案: 木材
* 理由: 「木材」「材木」を示すのにごく一般的な表現。
* 学習コスト: 「木」は既出、新規は「材(7画)」。

1. bambu

* 提案: 竹
* 理由: 「竹子」の略だが、単独の「竹」でも十分に「竹」を示せる。
* 学習コスト: 画数(6画)も少なく、日本語・中国語いずれも直感的。

1. arbust

* 提案: 灌木
* 理由: 低木・潅木は中国語で「灌木」が標準的。
* 学習コスト: 「灌(20画)」はやや多いが、正確な意味を表せる常用語。

1. lat

* 提案: 木条
* 理由: 「木摺り」「木の細い板(ラス)」を示すのに簡潔。「板条」もあり得るが、既出「木」の再利用で画数を抑えた。
* 学習コスト: 新規は「条(7画)」のみ。

1. ŝind

* 提案: 木瓦
* 理由: [建]こけら板(ウッドシングル)を直訳的に「木の瓦」としてわかりやすく簡略表記。
* 学習コスト: 既出「木」、新規は「瓦(4画)」のみ。厳密には専門用語ではないが、意味は推測可能。

1. parget

* 提案: 拼花地板
* 理由: 「寄木張り(パーケット)」の一般的な中国語は「拼花地板」。
* 学習コスト: 「拼(9画)」「花(7画)」「地(6画)」「板(8画)」すべて比較的よく使う字だが、4文字合計ではやや多め。ただし標準的な表現。